

Ⅱ 後作物残留に係る調査

1. 調査の構成及び実施機関

1-1 業務の名称

平成 28 年度農薬残留対策総合調査委託業務（後作物残留に係る調査）

1-2 目的

土壌に残留した農薬が後作物にどの程度残留するかの調査及び残留リスクを的確に評価し、管理する手法の確立に資する検討を行うことを目的とする。

1-3 調査機関名

株式会社 エスコ

1-4 調査課題・実施機関

土壌中の農薬残留に伴う後作物における農薬の残留性を評価する手法を確立するため、後作物残留に係る調査を実施した。調査は以下11組織に委託した。

【委託先（調査実施機関）】

- ・ 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
- ・ 宮城県（宮城県農業・園芸総合研究所）
- ・ 栃木県農業試験場
- ・ 長野県農業試験場
- ・ 愛知県（愛知県農業総合試験場）
- ・ 京都府農林水産技術センター
- ・ 兵庫県（兵庫県立農林水産技術総合センター）
- ・ 山口県農林総合技術センター
- ・ 徳島県（徳島県立農林水産総合技術支援センター）
- ・ 香川県農業試験場
- ・ 高知県（高知県農業技術センター）

2. 後作物残留に係る調査の概要

2-1 調査概要

1) 調査目的

土壌に残留した農薬が後作物にどの程度残留するか、その残留リスクを的確に評価し、管理する手法の確立に資するための調査及び検討を行うことを目的とした。具体的には、オクタノール/水分配係数（以下、LogPow という。）の値による後作物残留リスクの違いの程度を把握することを主目的に葉菜類を対象に調査を実施した。

2-2 対象農薬及び試供後作物

1) 試験の内容

① 後作物残留濃度の調査

農薬の物性による後作物残留リスクの違いを明確にするため、前作と後作の栽培間隔を短く設定し、LogPow が異なる複数の農薬で試験を実施した。

② 土壌中の経時濃度の影響調査

土壌中の経時濃度の影響に係る知見を得るため、試験を実施した。

2-3 供試農薬

地域で主に使用されており、土壌中半減期が近い農薬のうち (a)LogPow が低い農薬 (1 未満)、(b)中間の農薬 (1 以上～3 未満) 及び(c)高い農薬 (3 以上) を各1 剤ずつ選択[※]した。例として昨年度のアンケート調査の結果を基に地域で主に使われている農薬を土壌中半減期別にグループ化 (A～D) した (別表)。別表から選択する場合は、A～Dから1 グループ以上を選択し、選択したグループの中でLogPow 別にサブグループ化した(a), (b), (c) から1 剤ずつ選択[※]した。なお、選択する際は、可能な範囲で類似した剤型及び類似した登録上の使用方法の農薬を選択し、単位面積農薬投下量 (有効成分ベース) が多い使用量で処理した。

※ サブグループ(a), (b), (c)から1 農薬ずつ計3 農薬以上選択するのが望ましいが、難しい場合は、LogPow がサブグループ別程度異なる2 農薬でも可とした。

2-4 供試後作物

これまで本事業において検出されやすい傾向が示されている、コマツナまたはハウレンソウから1 作物選定した。

表 2-1 調査実施機関と対象農薬

実施機関	グループ ※1	サブ グループ ※2	対象農薬（有効成分）名	剤型	供試作物 （栽培形態）
北海道立総合研究機構	B	(a)	ジノテフラン	粒剤	こまつな （露地）
		(c)	テフルトリン	粒剤	
宮城県農業・園芸総合 研究所	B	(a)	ジノテフラン	粒剤	こまつな （露地）
		(b)	プロベナゾール	粒剤	
		(c)	トルクロホスメチル	水和剤	
栃木県農業試験場	C	(a)	イミダクロプリド	水和剤	ほうれんそう （施設）
		(b)	ミクロブタニル	水和剤	
		(c)	プロシミドン	水和剤	
長野県農業試験場	A	(a)	アセタミプリド	粒剤	ほうれんそう （露地）
		(b)	メタラキシルM	粒剤	
		(c)	シアゾファミド	フロアブル剤	
愛知県農業総合試験場	C	(a)	クロチアニジン	水溶剤	こまつな （露地）
		(b)	ベンチアバリカルブ イソプロピル	水和剤	
		(c)	プロシミドン	水和剤	
京都府農林水産技術 センター	B	(a)	ヒドロキシイソキサゾール	粉剤	こまつな （施設）
		(b)	T P N	粉剤	
		(c)	テフルトリン	粒剤	
兵庫県立農林水産技術 総合センター	C	(a)	イミダクロプリド	水和剤	こまつな （露地）
		(b)	ミクロブタニル	水和剤	
		(c)	クロルフェナピル	フロアブル剤	
山口県農林総合技術 センター	A	(a)	アセタミプリド	粒剤	こまつな （露地）
		(b)	メタラキシル	粒剤	
		(c)	ダイアジノン	粒剤	
徳島県立農林水産総合 技術支援センター	C	(a)	クロチアニジン	水溶剤	こまつな （露地）
		(b)	ベンチアバリカルブ イソプロピル	水和剤	
		(c)	クロルフルアズロン	乳剤	
香川県農業試験場	B	(a)	ジノテフラン	水溶剤	こまつな （施設）
		(b)	T P N	水和剤	
		(c)	トルクロホスメチル	水和剤	
高知県農業技術 センター	C	(a)	イミダクロプリド	フロアブル剤	こまつな （露地）
		(b)	ミクロブタニル	乳剤	
		(c)	プロシミドン	水和剤	

2-5 試験区

土性（種別）及び農薬使用履歴が明らかな裸地圃場を用いた（前作は栽培しなかった）。また、土壌の理化学性（pH、有機物含有量等）及び仮比重を調査した。調査後に、作付前に苦土石灰等、土壌pHを変化させうるものを施用する場合は、施用後における土壌pHの変化を確認し、露地で試験を実施した。

試験区は無処理区と処理区とし、対象農薬の剤型にかかわらずドリフトのリスクを軽減す

るため、可能な限り遠ざけることとした。各試験区は継時的な土壌残留調査が可能で供試後作物が十分に収穫できる面積とした。施設の場合は適切なかん水管理を行った。



図 2-1 試験区のイメージ

2-6 農薬の処理と後作物の作付け

試験圃場を十分耕起してならした後に供試農薬を所定条件で薬剤処理区に処理した。処理時は試験区内に均一に処理するよう特に留意することとした。粒剤の場合は原則として作付予定区域のみに処理し（通路部分はずす）軽く土壌混和した。

作物は農薬の最終処理後に耕起、施肥など栽培慣行を確実に実施したのちに作付けを行った。作付方法は栽培慣行に従うものとするが、施肥により土壌の理化学性に影響を及ぼすこともあるため、施肥した肥料等の単位面積当たり施肥量を明確にし、作付前には十分に耕うんを行うこととした。

耕起深度はトラクター等の歯の径から推計するのではなく、耕起した部分とその外側の農地との断面で実測した。

2-7 気象観測

露地栽培の場合はアメダス等の利用により調査期間中の気温（1日平均値）、降水量（1日合計値）を調査した。施設栽培の場合は、施設内の気温及び湿度（いずれも1日平均値）を調査した。

2-8 作物残留濃度の調査

残留基準に定める可食部を各区から十分量（1kg かつ5 個体以上）採取し、その重量を測定後、対象農薬の分析を行った。試料に土壌が付着している時は、はけ等を用いて除去するか、又は付着が著しい時はゆるやかな流水下で柔らかいブラシで軽くこすり落とした。

残留濃度分析法については供試農薬の供試後作物における作物残留基準を十分確認する

ことができる方法とした。また定量下限については、最低限満たすべき水準は0.01ppmとし、より小さい値に設定できる場合には測定が可能な範囲で設定した。検出下限値の有効数字は1桁とした。

やむを得ず保存した後に分析する場合は-20℃以下で冷凍し、保存安定性試験を行った。

2-9 土壌中の経時濃度の影響調査

1) 調査時期

無処理区は作付け時に調査を行い、対象となる農薬が検出されないことを確認した。処理区にあっては、少なくとも最終処理直後、約15日後及び収穫時の調査を行った。（図2-2参照）

2) 試料採取方法

採土管を用いて（移植ごと、スコップ等は使用しない）、地表露出部分から地表10cmまでの土壌を、毎回8カ所以上から採取し、ビニル袋等を用いて十分混合し試料とした。前回採取に用いた地点からは採取しないこととした。作付時にあっては可能であれば地表10～20cmの土壌も採取し試料とした（地表10cmまでの土壌とは別途分析を行った）。

3) 土壌中の残留濃度分析方法

採取土壌は土塊をつぶして篩いにかけて残留濃度分析に供した。濃度は乾土当たりのmg/kgで表示した。

残留濃度分析法の定量限界については、最低限満たすべき水準は0.01ppmとし、より小さい値に設定できる場合には測定が可能な範囲で設定した。検出下限値の有効数字は1桁とした。

やむを得ず保存した後に分析する場合は-20℃以下で冷凍し、保存安定性試験を行った。

2-10 調査結果の取りまとめ

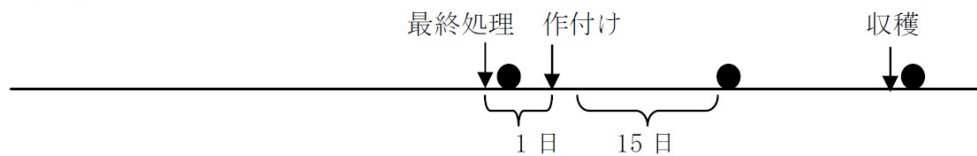
調査のとりまとめに当たっては個々の調査毎に、以下の項目にそって取りまとめることとした。

- ・調査の目的（調査の必要性、調査対象農薬の選定理由等）
- ・調査手法及び結果（(2)の①後作物残留濃度の調査、②土壌中の経時濃度の影響調査を③調査方法の各項目記載事項を踏まえて整理）
- ・考察（調査結果の分析、後作物残留リスクの評価、リスク管理措置の妥当性の検証、今後の対応策等を考察）

1) 無処理区



2) 処理区



※無処理区及び処理区において、供試する作物及びほ場の土壌の性質は同じものとした。

※各処理区で作付け日を同日とした。収穫日についても可能な限り同日とした。

※土壌調査は少なくとも最終処理直後、約 15 日後及び収穫時において調査した。

●は土壌調査を示す

図 2-2 試験区と調査のイメージ

グループ 土壌中半減期（日）	サブグループ LogPow	農薬（有効成分）名
A 0～20	(a) 1 未満	バリダマイシン
		ホセチル
		ニテンピラム
		メソミル
		アシュラム
		フロニカミド
		アセタミプリド
	(b) 1 以上 3 未満	ダゾメット
		マンゼブ
		チアクロプリド
		イミシアホス
		ホスチアゼート
		メタラキシル
		カスガマイシン
		キャプタン
		マラチオン（マラソン）
	(c) 3 以上	メトラクロール
		ジエトフェンカルブ
		シアゾファミド
		クレソキシムメチル
		ダイアジノン
		イソキサチオン
		スピノサド
		スピネトラム
		ルフェヌロン
		エマメクチン安息香酸塩B2a
		トルフェンピラド
ピリダベン		
レピメクチン		
B 21～40	(a) 1 未満	ジノテフラン
		ピメトロジン
		ヒドロキシイソキサゾール （ヒメキサゾール）
	(b) 1 以上 3 未満	チオファネートメチル
		プロベナゾール

グループ 土壌中半減期 (日)	サブグループ LogPow	農薬 (有効成分) 名
B 21~40	(b) 1 以上 3 未満	レナシル
		スピロテトラマト
		TPN
	(c) 3 以上	ピリフルキナゾン
		チフルザミド
		ピリミホスメチル
		アミスルプロム
		トルクロホスメチル
		フェンピロキシメート
		トリフルミゾール
		アクリナトリン
		エマメクチン安息香酸塩B1a
		テフルトリン
		エトフェンプロックス
C 41~100	(a) 1 未満	チアメトキサム
		イミダクロプリド
		クロチアニジン
	(b) 1 以上 3 未満	ミクロブタニル
		ベンチアバリカルブイソプロピル
	(c) 3 以上	イプロジオン
		ペンチオピラド
		メパニピリム
		プロシミドン
		ピリベンカルブ
		クロルフェナピル
		クロルフルアズロン
		シペルメトリン
	D 101~250	(a) 1 未満
(b) 1 以上 3 未満		イミノクタジンアルベシル酸塩
		アゾキシストロビン
		クロラントラニリプロール
		フルスルファミド
		ボスカリド
(c) 3 以上		マンジプロパミド
		フルフェノクスロン
		フルベンジアミド
		ピリダリル

3. 今年度調査結果のまとめ

後作物調査の対象農薬の検出状況を表 3-1～3-18 に示す。

表 3-1 今年度調査結果の概要（アセタミプリド）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
長野県農業 試験場	モスピラン粒剤 (2.0%) 6kg/10a 1回	ほうれんそう (PBI=1日)	オータム	上 0.82 下 0.22	—	0.05 (15日後)	上<0.01 下<0.01 (48日後)	0.02 (48日後)	3
山口県農林 総合技術セン ター	モスピラン粒剤 (2.0%) 6kg/10a 1回	こまつな (PBI=1日)	夏楽天	上 0.98 下<0.01	—	0.04 (16日後)	0.02 (28日後)		5

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-2 今年度調査結果の概要（イミダクロプリド）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
栃木県農業 試験場	アドマイヤー水和 剤 (10.0%) 2000倍、300L/10a 3回	ほうれんそう (PBI=1日)	ミラージュ	上 0.20 下 0.16	—	上 0.09 下 0.06 (15日後)	上 0.08 下 0.04 (51日後)	<0.01 (51日後)	15
兵庫県立農林 水産技術総合 センター	アドマイヤー顆粒 水和剤(50%) 5000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	ひとみ	上 0.76 下 0.01	—	0.26 (13日後)	0.28 (26日後)	0.08 (26日後)	5
高知県農業 技術センター	アドマイヤーフロ アブル(20%) 2,000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	夏楽天	0.88	上 0.36 下 0.40	0.31 (7日後) 0.26 (13日後) 0.24 (19日後)	0.10 (33日後)	<0.01 (33日後)	5

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-3 今年度調査結果の概要（クロチアニジン）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
愛知県農業 総合試験場	ダントツ水溶剤 (16%) 2000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	夏楽天	上 0.35 下 0.01	—	0.27 (15日後)	0.09 (26日後) 0.06 (32日後)	0.12 (26日後) 0.09 (32日後)	10
徳島県立農林 水産総合技術 支援センター	ダントツ水溶剤 (16%) 2000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	いなむら	0.42	上 0.34 下 0.30	0.32 (7日後) 0.24 (13日後) 0.20 (22日後)	0.16 (29日後)	0.03 (29日後)	10

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-4 今年度調査結果の概要（クロルフェニル）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
兵庫県立農林 水産技術総合 センター	コテツフロアブル (10%) 2000倍 300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	ひとみ	上 0.50 下 0.01	—	0.28 (13日後)	0.34 (26日後)	<0.01 (26日後)	5

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-5 今年度調査結果の概要（クロルフルアズロン）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
徳島県立農林 水産総合技術 支援センター	アタブロン乳剤 (5%) 2000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	いなむら	0.22	上 0.11 下 0.06	0.10 (7日後) 0.12 (13日後) 0.14 (22日後)	0.11 (29日後)	<0.01 (29日後)	2

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-6 今年度調査結果の概要（シアゾファミド）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
長野県農業 試験場	ランマンフロアブル (9.4%) 1000倍、300L/10a 3回	ほうれんそう (PBI=1日)	オータム	上 0.45 下 0.06	—	0.16 (15日後)	上 0.06 下 0.02 (48日後)	<0.01 (48日後)	25

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-7 今年度調査結果の概要（ジノテフラン）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
地方独立行政 法人 北海道 立総合研究機 構	スタークル粒剤 (1%) 12kg/10a 1回	こまつな (PBI=0日)	よかった菜	1.60	—	0.28 (14日後)	0.36 (26日後)	0.46 (26日後)	10
宮城県農業・ 園芸総合研究 所	Dr.オリゼスターク ル箱粒剤 (2.0%) 28g/m ² 1回	こまつな (PBI=1日)	きよすみ	4.30	—	2.32 (14日後)	1.66 (29日後)	0.14 (29日後)	10
香川県農業 試験場	アルバリン顆粒水 溶剤 (20.0%) 2000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	楽天	上 0.44 下 0.24	—	0.17 (14日後)	0.34 (24日後)	0.26 (24日後)	10

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-8 今年度調査結果の概要（ダイアジノン）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
山口県農林 総合技術セン ター	ダイアジノン粒剤 5 (5.0%) 6kg/10a 1回	こまつな (PBI=1日)	夏楽天	上 2.70 下 0.17	—	0.05 (16日後)	0.02 (28日後)		0.1

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-9 今年度調査結果の概要（テフルトリン）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
地方独立行政 法人 北海道 立総合研究機 構	フォース粒剤 (0.50%) 12kg/10a 1回	こまつな (PBI=0日)	よかつた菜	0.66	—	0.30 (14日後)	0.32 (26日後)	0.01 (26日後)	0.5
京都府農林水 産技術センタ ー	フォース粒剤 (0.50%) 9kg/10a (9g/m ²) 1回	こまつな (PBI=1日)	菜々美	上 0.28 下 0.14	—	0.16 (15日後)	0.29 (36日後)	<0.01 (36日後)	0.5

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-10 今年度調査結果の概要（トルクロホスメチル）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
宮城県農業・ 園芸総合研究 所	リゾレックス水和剤 (50%) 500倍・3L/m ² 1回	こまつな (PBI=1日)	きよすみ	53.5	—	49.0 (14日後)	32.3 (29日後)	0.84 (29日後)	2
香川県農業 試験場	リゾレックス水和剤 (50.0%) 1000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	楽天	上 2.08 下 1.04	—	0.52 (14日後)	0.36 (24日後)	<0.01 (24日後)	2

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-11 今年度調査結果の概要（ヒドロキシイソキサゾール）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
京都府農林水 産技術センタ ー	タチガレン粉剤 (4.0%) 40kg/10a (40g/m ²) 1回	こまつな (PBI=1日)	菜々美	上 8.42 下 2.12	—	0.22 (15日後)	0.03 (36日後)	<0.01 (36日後)	0.5

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-12 今年度調査結果の概要（プロシミドン）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
栃木県農業 試験場	スミレックス水和剤 (50.0%) 1000倍、300L/10a 3回	ほうれんそう (PBI=1日)	ミラージュ	上 4.62 下 2.86	—	上 1.86 下 0.85 (15日後)	上 1.55 下 0.55 (51日後)	0.10 (51日後)	5
愛知県農業総 合試験場	スミレックス水和剤 (50.0%) 1000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	夏楽天	上 2.76 下 0.02	—	3.80 (15日後)	2.42 (26日後) 2.42 (32日後)	0.79 (26日後) 1.00 (32日後)	5
高知県農業 技術センター	スミレックス水和剤 (50.0%) 1,000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	夏楽天	3.28	上 1.72 下 1.72	0.11 (7日後) 0.06 (13日後) 0.06 (19日後)	0.05 (33日後)	<0.01 (33日後)	5

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-13 今年度調査結果の概要（プロベナゾール）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
宮城県農業・ 園芸総合研究 所	Dr. オリゼスター クル箱粒剤 (25.0%) 28g/m ² 1回	こまつな (PBI=1日)	きよすみ	109.8	—	66.6 (14日後)	23.4 (29日後)	<0.01 (29日後)	0.1

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-14 今年度調査結果の概要（ベンチアバリカルブイソプロピル）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
愛知県農業 総合試験場	プロボーズ顆粒 水和剤 (5%) 1000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	夏楽天	上 0.21 下 <0.01	—	0.14 (15日後)	0.04 (26日後) 0.04 (32日後)	0.01 (26日後) 0.01 (32日後)	0.01 (一律 基準)
徳島県立農林 水産総合技術 支援センター	マモロット顆粒水 和剤 (15%) 2000倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	いなむら	0.42	上 0.22 下 0.16	0.12 (7日後) 0.06 (13日後) 0.02 (22日後)	0.01 (29日後)	<0.01 (29日後)	0.01 (一律 基準)

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-15 今年度調査結果の概要（マイクロブタニル）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
栃木県農業 試験場	ラリー水和剤 (10%) 4000倍、300L/10a 3回	ほうれんそう (PBI=1日)	ミラージュ	上 0.36 下 0.19	—	上 0.13 下 0.05 (15日後)	上 0.11 下 0.03 (51日後)	<0.01 (51日後)	1
兵庫県立農林 水産技術総合 センター	ラリー水和剤 (10%) 1000倍、300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	ひとみ	上 0.84 下 0.02	—	0.50 (13日後)	0.64 (26日後)	0.03 (26日後)	1*
高知県農業 技術センター	ラリー乳剤 (25%) 2,500倍・300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	夏楽天	0.84	上 0.37 下 0.42	0.28 (7日後) 0.24 (13日後) 0.24 (19日後)	0.24 (33日後)	<0.01 (33日後)	1*

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

*こまつなの残留基準値は「その他あぶらな科野菜」としての値を示す

土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-16 今年度調査結果の概要（メタラキシル）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
山口県農林 総合技術セン ター	リドミル粒剤 2 (2.0%) 10kg/10a 1回	こまつな (PBI=1日)	夏楽天	上 2.05 下 0.08	—	0.54 (16日後)	0.10 (28日後)		1

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-17 今年度調査結果の概要（メタラキシル M）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
長野県農業 試験場	ユニフォーム粒剤 (1.0%) 6kg/10a 1回	ほうれんそう (PBI=1日)	オータム	上 1.20 下 0.23	—	0.10 (15日後)	上 0.01 下 0.01 (48日後)	0.01 (48日後)	2

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

表 3-18 今年度調査結果の概要（TPN）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)				後作物 残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理時	作付け時 又は 播種時	作付け後	収穫時		
京都府農林水 産技術センタ ー	ダコソイル (10.0%) 40kg/10a (40g/m ²) 1回	こまつな (PBI=1日)	菜々美	上 50.2 下 22.0	—	19.4 (15日後)	21.9 (36日後)	<0.01 (36日後)	4
香川県農業 試験場	フォリオゴールド (32.0%) 800倍・400L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	楽天	上 3.48 下 2.67	—	0.38 (14日後)	0.31 (24日後)	<0.01 (24日後)	4

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。
土壌濃度及び後作物残留濃度下の括弧内は、作付け又は播種後の日数を示す。

4. 過年度調査結果のまとめ

4-1 後作物における残留農薬の検出

今年度の調査対象となっている農薬について、過年度の後作物における残留農薬の検出状況は表 4-1～表 4-18 に整理したとおりである。過年度（平成 17～27 年度）の調査においては、試験期間中の移植は行われていない。

表 4-1-1 アセタミプリドの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時		
H27	北海道立 総合研究 機構	モスピラン 水溶剤 (20.0%) 200 倍 3L/m ² 1 回	こまつな (PBI=0 日)	よかった菜	未測定	—※	—※	—※	5
			こまつな (PBI=15 日)		—※	—※	—※	—※	
			こまつな (PBI=27 日)		—※	—※	—※	—※	
			こまつな (PBI=61 日)		—※	—※	—※	—※	
	山口県農 林総合技 術センタ ー	モスピラン 顆粒水溶剤 (20.0%) 2,000 倍 300L/10 a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	夏楽天	未測定	上 0.62 下 0.04	0.02	<0.01	5
			こまつな (PBI=14 日)		0.84	上 0.60 下 0.04	0.02	<0.01	
			こまつな (PBI=28 日)		0.68	上 0.42 下 0.03	0.01	<0.01	
			こまつな (PBI=60 日)		0.42	上 0.40 下 0.04	0.01	<0.01	

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。

※良好な回収率が得られなかった等の理由から信頼性のある分析値が得られなかった。

表 4-2-2 アセタミプリドの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件				土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物※1,2	品 種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度※3,4		
H25	北海道立 総合研究 機構中央 農業試験 場	モスピラン 粒剤 (2.0%) 慣行量区： 6k g /10a, 1/3 量区： 2k g /10a, 1/5 量区： 1.2k g /10a	なし	コマツナ (慣行量処理区) (薬剤処理 30 日)	よかった菜	0.04	0.92	0.06	5
				コマツナ (1/3 量処理区) (薬剤処理 30 日)		<0.01	0.01	0.02	
				コマツナ (1/5 量処理区) (薬剤処理 30 日)		<0.01	0.01	0.01	
				コマツナ (慣行量処理区) (薬剤処理 30 日)	CR 緑郷 EX	0.04	0.92	0.04	
				コマツナ (慣行量処理区) (薬剤処理 30 日)	浜ちゃん	0.04	0.92	0.06	
	埼玉県農 林総合研 究センタ ー	モスピラン 水溶剤 (20.0%) 慣行量区： 2,000 倍 1/3 量区： 6,000 倍 1/5 量区： 10,000 倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ (慣行量処 理区) (薬剤処理 37 日)	サマーズ	0.26	上 0.12 下 0.04	<0.01	3
				ハウレンソウ (1/3 量処 理区) (薬剤処理 37 日)		0.07	上 0.04 下 0.02	<0.01	
				ハウレンソウ (1/5 量処 理区) (薬剤処理 37 日)		0.05	上 0.01 下 <0.01	<0.01	
				ハウレンソウ (慣行量処 理区) (薬剤処理 42 日)	トリトン	0.26	上 0.12 下 0.04	<0.01	
				ハウレンソウ (慣行量処 理区) (薬剤処理 35 日)	プリウス アーリー 7	0.26	上 0.12 下 0.04	<0.01	
	長野県農 業試験場	モスピラン 粒剤 (2.0%) 慣行量区： 6kg/10a 1/3 量区： 3kg/10a 1/5 量区： 1.2k g /10a	なし	ハウレンソウ (慣行量処 理区) (薬剤処理 39 日)	サマーズ	0.66	上 0.50 下 0.04	0.01	3
				ハウレンソウ (1/3 量処 理区) (薬剤処理 39 日)		0.16	上 0.04 下 0.03	0.01	
				ハウレンソウ (1/5 量処 理区) (薬剤処理 39 日)		0.12	上 0.01 下 0.01	0.01	
				ハウレンソウ (慣行量処 理区) (薬剤処理 40 日)	スーパー アリーナ	0.66	上 0.50 下 0.04	0.01	
				ハウレンソウ (1/3 量処 理区) (薬剤処理 40 日)		0.16	上 0.04 下 0.03	<0.01	
				ハウレンソウ (1/5 量処 理区) (薬剤処理 40 日)		0.12	上 0.01 下 0.01	0.01	
				ハウレンソウ (慣行量処 理区) (薬剤処理 40 日)	プリウス アーリー	0.66	上 0.50 下 0.04	0.01	
				ハウレンソウ (1/3 量処 理区) (薬剤処理 40 日)		0.16	上 0.04 下 0.03	0.01	
				ハウレンソウ (1/5 量処 理区) (薬剤処理 40 日)		0.12	上 0.01 下 0.01	0.01	
	山口県農 林総合技 術センタ ー	モスピラン 水溶剤 (20.0%) 慣行量： 2,000 倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ (慣行量処 理区) (薬剤処理 92 日)	サマーズ	0.18	上 0.20 下 0.03	<0.01	3
				ハウレンソウ (1/3 量処 理区) (薬剤処理 92 日)		0.10	上 0.07 下 0.01	<0.01	
				ハウレンソウ (1/5 量処 理区) (薬剤処理 92 日)		0.05	上 0.03 下 <0.01	<0.01	
				ハウレンソウ (慣行量処 理区) (薬剤処理 92 日)	ハンター	0.18	上 0.20 下 0.03	<0.01	
				ハウレンソウ (慣行量処 理区) (薬剤処理 92 日)	クローネ	0.18	上 0.20 下 0.03	<0.01	

表 4-3-3 アセタミプリドの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)		
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4	
H25	香川県農業試験場	モスピラン粒剤 (2.0%) 慣行量： 6k g/10a 1/3量区： 2kg/10a 1/5量区： 1.2kg/10a	なし	コマツナ(慣行量処理区) (薬剤処理23日)	よかつた菜	1.20	上 1.07 下 0.01	0.16	5	
				コマツナ(1/3量処理区) (薬剤処理23日)		0.41	上 0.24 下 <0.01	0.10		
				コマツナ(1/5量処理区) (薬剤処理23日)		0.22	上 0.15 下 <0.01	0.02		
				コマツナ(慣行量処理区) (薬剤処理23日)	楽天	1.20	上 1.07 下 0.01	0.07		
				コマツナ(慣行量処理区) (薬剤処理23日)	浜美2号	1.20	上 1.07 下 0.01	0.10		
	高知県農業技術センター	モスピラン顆粒水溶剤 (20%) 慣行量： 2,000倍 1/3量区： 6,000倍 1/5量区： 10,000倍 300L/10a	なし	コマツナ(慣行量処理区) (薬剤処理32日)	よかつた菜	0.23	上 0.03 下 0.04	<0.01		
				コマツナ(1/3量処理区) (薬剤処理32日)		0.11	上 0.02 下 0.02	<0.01		
				コマツナ(1/5量処理区) (薬剤処理32日)		0.05	上 0.01 下 0.02	<0.01		
				コマツナ(慣行量処理区) (薬剤処理32日)	極楽天	0.23	上 0.03 下 0.04	<0.01		
				コマツナ(慣行量処理区) (薬剤処理32日)	夏楽天	0.23	上 0.03 下 0.04	<0.01		
H24	岐阜県農業技術センター	モスピラン粒剤 (2.0%) 6k g/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理57日)	白盃	-	上 0.26 下 0.10	根 <0.01 葉 0.02	根 0.1 葉 5	
				カブ(遅延区) (薬剤処理154日)	白盃	-	上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01		
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理37日)	コメット	-	上 0.26 下 0.20	根 <0.01 葉 0.14	根 0.2 葉 5	
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理107日)	コメット	-	上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01		
	山口県農林総合技術センター	モスピラン水溶剤 (20.0%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理52日)	耐病ひかり	-	上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.1 葉 5	
				カブ(遅延区) (薬剤処理92日)	耐病ひかり	-	上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01		
				ニンジン(早期区) (薬剤処理120日)	向陽二号	-	上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.2 葉 10	
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理181日)	向陽二号	-	上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01		
H23	熊本県農業研究センター	モスピラン水和剤 (20%) 2,000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ(早期区) (薬剤処理40日)	アトラス	0.55	上 0.27 下 0.67	<0.01 (n. d.)	3	
				ハウレンソウ(遅延区) (薬剤処理63日)	アトラス		上 0.09 下 0.07	<0.01 (n. d.)		
				コマツナ(早期区) (薬剤処理40日)	楽天		上 0.27 下 0.67	<0.01 (n. d.)	5	
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理55日)	楽天		上 0.09 下 0.07	<0.01 (n. d.)		
				コネギ(早期区) (薬剤処理80日)	鴨頭ねぎ		上 0.27 下 0.67	<0.01 (n. d.)	5	
				コネギ(遅延区) (薬剤処理104日)	鴨頭ねぎ		上 0.09 下 0.07	<0.01 (n. d.)		
	香川県農業試験場	モスピラン水和剤 (20%) 2,000倍 300L/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理32日)	楽天		0.68	0.03	<0.01 (0.002)	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理92日)	楽天			<0.01 (0.001)	<0.01	
				チンゲンサイ(早期区) (薬剤処理37日)	青帝			0.03	<0.01 (n. d.)	5
				チンゲンサイ(遅延区) (薬剤処理98日)	青帝			<0.01 (0.001)	<0.01 (n. d.)	
				ハウレンソウ(早期区) (薬剤処理42日)	おかめ			0.03	<0.01 (n. d.)	3
				ハウレンソウ(遅延区) (薬剤処理108日)	おかめ			<0.01 (0.001)	<0.01 (n. d.)	

表 4-4-4 アセタミプリドの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍 率・ 処理量	前 作物	供試作物※1,2	品 種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H23	山口県 農林総合 技術セン ター	モスピラ ン水溶剤 (20%) 2,000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ(早期 区) (薬剤処理43日)	パンドラ	0.53	上 0.48 下 0.15	<0.01 (n. d.)	3
	奈良県 農業総合 センター	モスピラ ン粒剤 (2%) 6kg/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理43日)	夏楽天	上 1.08 下 <0.01	上 0.04 下 <0.01(0.002)	<0.01 (nd)	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理97日)	夏楽天		上 <0.01(nd) 下 <0.01(nd)	<0.01 (nd)	
				ハウレンソウ(早期 区)(薬剤処理76 日)	デュエル		上 0.04 下 <0.01(0.002)	<0.0 (nd)	3
				ハウレンソウ(遅延 区)(薬剤処理152 日)	デュエル		上 <0.01(nd) 下 <0.01(nd)	<0.01 (nd)	
				コネギ(早期区) (薬剤処理110日)	小夏		上 0.04 下 <0.01(0.002)	<0.01 (nd)	5
				コネギ(遅延区) (薬剤処理159日)	小夏		上 <0.01(nd) 下 <0.01(nd)	<0.01 (nd)	
	大阪府 環境農 林水産 総合研 究所	モスピラ ン粒剤 (2%) 6kg/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理42日)	ひとみ	-	0.76	0.78	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理89日)	ひとみ	-	<0.01	<0.05	
				シロナ(早期区) (薬剤処理42日)	しらすぎ 菜	-	0.76	0.25	10
				シロナ(遅延区) (薬剤処理89日)	しらすぎ 菜	-	<0.01	<0.05	
				シュンギク(早期 区) (薬剤処理51日)	菊次郎	-	0.76	0.36	10
				シュンギク(遅延 区) (薬剤処理105日)	菊次郎	-	<0.01	<0.05	
	京都府 農林水 産技術 センタ ー	モスピラ ン粒剤 (2%) 6kg/10a	なし	小カブ(根)(早期 区) (薬剤処理56日)	耐病ひかり	2.39	上 1.67 下 0.04	<0.01 (n. d.)	根 0.1 葉 5
小カブ(根)(遅延 区) (薬剤処理133日)				耐病ひかり	上 0.49 下 <0.01		<0.01 (n. d.)		
小カブ(葉)(早期 区) (薬剤処理56日)				耐病ひかり	上 1.67 下 0.04		<0.01 (n. d.)		
小カブ(葉)(遅延 区) (薬剤処理133日)				耐病ひかり	上 0.49 下 <0.01		<0.01 (n. d.)		
ニンジン(早期区) (薬剤処理125日)				真紅金時	上 1.67 下 0.04		<0.01 (n. d.)	根 0.2 葉 10	
ニンジン(遅延区) (薬剤処理213日)				真紅金時	上 0.49 下 <0.01		<0.01 (n. d.)		

表 4-5-5 アセタミプリドの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H23	長野県 農業試験場	モスピラン 粒剤 (2%) 6kg/10a	なし	ハウレンソウ(早期区) (薬剤処理 56 日)	オータム	上 0.19 下 0.08 上 0.74 下 0.06	上 0.19	<0.01 (n. d.)	3
				ハウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 125 日)	オータム		下 0.08	<0.01 (n. d.)	
				コマツナ(早期区) (薬剤処理 40 日)	照彩		上 0.03	<0.01 (n. d.)	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 125 日)	照彩		下 0.03	<0.01 (n. d.)	
				リーフレタス(早期区) (薬剤処理 55 日)	アーリー インパル ス		上 0.14	<0.01 (n. d.)	10
				リーフレタス(遅延区) (薬剤処理 117 日)	アーリー インパル ス		下 0.03	<0.01 (n. d.)	
	東京都 農林総合 研究セン ター	モスピラン 粒剤 (2%) 6kg/10a	なし	ダイコン(早期区) (薬剤処理 71 日)	夏みの 早生三号	1.45	0.21	<0.01 (n. d.)	根 0.2 葉 5
				ダイコン(遅延区) (薬剤処理 122 日)	夏みの 早生三号	0.54	0.09	<0.01 (n. d.)	
				カブ(根)(早期区) (薬剤処理 57 日)	白馬	0.68	0.31	<0.01 (n. d.)	根 0.1 葉 5
				カブ(根)(遅延区) (薬剤処理 98 日)	白馬	0.06	0.04	<0.01 (n. d.)	
				カブ(葉)(早期区) (薬剤処理 57 日)	白馬	0.68	0.31	0.01	
				カブ(葉)(遅延区) (薬剤処理 98 日)	白馬	0.06	0.04	<0.01 (n. d.)	
	埼玉県 農林総合 研究セン ター	モスピラン 粒剤 (3%) 6kg/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理 14 日)	夏楽天	1.336	0.239	<0.005(n. d.)	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 60 日)	夏楽天		<0.005(n. d.)		
				ハウレンソウ(早期区) (薬剤処理 14 日)	強力オーラ イ		0.239	<0.005(n. d.)	3
				ハウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 60 日)	強力オーラ イ		0.012	<0.005(n. d.)	
				シュンギク(早期区) (薬剤処理 14 日)	大場春菊		0.239	<0.005(n. d.)	10
				シュンギク(遅延区) (薬剤処理 60 日)	大場春菊		0.012	<0.005(n. d.)	
宮城県 農業・園 芸総合 研究所	モスピラン 粒剤 (2%) 6kg/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理 42 日)	なかまち	0.82	0.99	0.04	5	
			コマツナ(遅延区) (薬剤処理 62 日)	なかまち		0.71	<0.01		
			ミズナ(早期区) (薬剤処理 43 日)	京みぞれ		0.99	0.08	5	
			ミズナ(遅延区) (薬剤処理 78 日)	京みぞれ		0.71	0.01		
			ハウレンソウ(早期区) (薬剤処理 52 日)	スーパー アリーナ		0.99	<0.01	3	
			ハウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 78 日)	スーパー アリーナ		0.71	<0.01		
H22	兵庫県 農林水産 技術総合 センター	モスピラン 粒剤 (2%) 3 kg/10a	なし	コマツナ 施設	楽天	0.6	0.1	<0.01	5
				ハウレンソウ 施設	サマード リーム法 連草	0.6	0.2	<0.01	3
				シュンギク 施設	株張中薬	0.6	0.1	<0.01	10
	大阪府 環境農 林水産 総合研 究所	モスピラン 水溶剤 (20%) 1000 倍 300 L/10a	なし	コマツナ 施設	ひとみ	0.5	1.1	<0.01	5
			シュンギク 施設	菊次郎	0.8	0.7	<0.01	10	

表 4-6-6 アセタミプリドの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H22	長野県 農業試験場	モスピラン 粒剤 (2%) 3kg/10a	なし	コマツナ 露地	照彩	0.03	<0.01	<0.01	5
				ハウレンソウ 露地	日本 ほうれん 草			<0.01	3
	東京都 農林総合 研究セン ター	モスピラン 水溶剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	コマツナ 露地	夏楽天	0.46	0.31	<0.01	5
				コカブ 露地	スワン	0.44	0.27	葉 0.01 根<0.01	葉 5 根 0.1
	埼玉県 農林総合 研究セン ター	モスピラン 粒剤 (2%) 3kg/10a	なし	シュンギク トンネル栽培	おきく3 号	0.43*	0.03*	<0.01*	10
				非結球レタス トンネル栽培	リバーグリー ン	0.39*	0.02*	<0.01*	10
H21	香川県 農業試験 場	モスピラン 粒剤+水溶 剤 (3%+20%) 6kg/10a + 2000倍 300L/10a	ネギ	コマツナ 施設 (早期区)	楽天	4.45	0.07	0.016	5
				コマツナ 施設 (遅延区)	楽天	4.45	0.07	0.012	
	宮城県 農業・園 芸総合 研究所	モスピラン 粒剤 (2%) 3kg/10a	コマツナ	ミズナ	京みぞれ	0.57	0.03	<0.01	5
	青森県 農林総合 研究セン ター	モスピラン 水溶剤 (20%) 8000倍 300L/10a	ハウレンソウ	コマツナ 施設	河北小松菜	0.15	0.04	<0.01	5
H20	奈良県 農業総合 センター	モスピラン 水溶剤 (20%) 8000倍 300 L/10a	シロナ	ハウレンソウ 施設 (早期区)	アップライ ト	0.03	0.01	<0.01	3
				ハウレンソウ 施設 (遅延区)	アップライ ト	0.03	<0.01	<0.01	
	京都府 農業総合 研究所	モスピラン 粒剤 (2%) 6kg/10a	ネギ	コマツナ (耕起区)	楽天	0.34	0.09	<0.01	5
				コマツナ (不耕起)	楽天			<0.01	
				ミズナ (耕起区)	京みぞれ			<0.01	5
				ミズナ (不耕起)	京みぞれ			<0.01	5
埼玉県 農林総合 研究セン ター	モスピラン 粒剤 (2%) 3kg/10a	コマツナ	ハウレンソウ	パンドラ	3.61	0.04	<0.02	3	
			宮城県 農業・園 芸総合 研究所	モスピラン 水溶剤 (20%) 8000倍 300L/10a	ハウレンソウ	コマツナ	まさみ	<0.02	<0.02

表 4-7-7 アセタミプリドの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H18	高知県農業技術センター	モスピラン粒剤 (2%) 1.38 kg/10a モスピラン水和剤 (20%) 2000倍×3回 300L/10a	キュウリ	ナス	春鈴	-	0.26	<0.01	2
	香川県農業試験場	アセタミプリド粒剤 120g/10a	ネギ	リーフレタス	グリーンウェーブ	-	0.21	<0.005	10
	兵庫県農林水産技術総合センター	アセタミプリド粒剤 312g/10a	チンゲンサイ	シュンギク	中葉株張	-	0.15	<0.02	10
				コマツナ	みなみ	-	0.15	<0.02	5
長野県農業総合試験場	アセタミプリド粒剤 92.3g/10a	キャベツ	チンゲンサイ	青梗パク チョイ	-	0.01	<0.01	5	
H17	長崎県総合農業試験場	粒剤	非結球レタス	なし		-	n. d. (31日後)	-	10
		水溶剤		なし		-	n. d.	-	
	香川県農業試験場	粒剤	キャベツ	なし		-	8(56日後)	-	3
		水溶剤		なし		-	0.02 (42日後)	-	
	山口県農林総合技術センター	粒剤	キャベツ	なし		-	6.6 (76日後)	-	3
		水溶剤		なし		-	0.03 (28日後)	-	
	兵庫県農林水産技術総合センター	粒剤	チンゲンサイ	なし		-	3.12 (56日後)	-	5
		水溶剤		なし		低濃度	-	-	
	宮城県農業・園芸総合研究所	粒剤	ハクサイ	なし		n. d.	-	0.5	0.5
		水溶剤		なし		n. d.	-	-	

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

※3：作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※4：土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

*：参考データ

表 4-2-1 イミダクロプリドの過年度の検出状況

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時		
徳島県	アドマイヤーフ ロアブル (20.0%) 2000倍 300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	いなむら	0.46	上 0.29 下 0.20	0.16	0.04	5
		こまつな (PBI=20日)		0.56	上 0.14 下 0.07	0.08	0.02	
		こまつな (PBI=36日)		0.71	上 0.16 下 0.12	0.08	0.01	
		こまつな (PBI=62日)		0.68	上 0.12 下 0.08	0.06	0.02	

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

表 4-2-2 イミダクロプリドの過年度の検出状況

年度	調査実施 機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H22	宮城県農 業・園芸 研究研究 所	アドマイヤ ーフロアブ ル(20%) 4000倍 300L/10a	-	コマツナ露地火山灰		0.31	0.42	<0.01	5
				コマツナ露地沖積土		0.25	0.16	<0.01	
				ハウレンソウ露地火 山灰		0.31	0.42	<0.01	15
				ハウレンソウ露地沖 積土		0.25	0.16	<0.01	
	東京都農 林総合研 究センタ ー	アドマイヤ ー顆粒水和 剤 (50%) 5000倍・ 300L/10a	-	コマツナ 露地		0.80	0.62	5	5
				カブ 露地		0.78	0.65	葉 2.8 根 0.4	葉 3
	大阪府環 境農林総 合研究所	アドマイヤ ー顆粒水和 剤 (50%) 4000倍 300L/10a	-	コマツナ 施設 (薬剤処理 1日)		0.6	1.0	0.05	5
				シュンギク 施設 (薬剤処理 1日)		0.5	0.5	0.09	3
	奈良県農 業総合セ ンター	アドマイヤ ー顆粒水和 剤 (50%) 10000倍 300L/10a	-	ハウレンソウ 施設		0.43	0.18	0.01	15
				シュンギク 施設				0.04	3
		アドマイヤ ーフロアブ ル (20%) 4000倍 300L/10a	-	ハウレンソウ 施設		0.33	0.21	0.01	15
				シュンギク 施設				0.04	3
徳島県立 農林水産 総合技術 支援セン ター	アドマイヤ ー顆粒水和 剤(50%) 10000倍 300L/10a	-	コマツナ露地		0.18	0.12	0.02	5	
			チンゲンサイ露地				<0.02	5	
			ハウレンソウ露地				0.04	15	

表 4-2-3 イミダクロプリドの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H22	高知県農業技術センター	アドマイヤー 一颗粒水和 剤 (50%) 5000 倍 300L/10a	-	コマツナ露地		1.0	0.39	0.034	5
				チンゲンサイ露地				0.011	5
				ハウレンソウ露地				0.050	15
H21	青森県農林総合研究センター	アドマイヤーフロアブル (20.0%) 4000 倍 300L/10a	ハウレンソウ	コマツナ施設 (薬剤処理 11 日)		0.39	0.11	<0.01	5
	東京都農林総合研究センター	アドマイヤー 1 粒剤 (1.0%) 6kg/10a	コマツナ	キュウリ露地 (薬剤処理 37 日)		1.54	0.72	<0.05	1
H20	東京都農林総合研究センター	アドマイヤー 1 粒剤 (1.0%) 6kg/10a	ミズナ	コマツナ (早期区)		-	0.34	<0.05	5
				コマツナ (遅延区)			0.50	<0.05	
H19	栃木県農業試験場	アドマイヤーフロアブル (20%) 4000 倍 300L/10a	スイートコーン	ハウレンソウ		-	0.2	<0.01	15
	東京都農林総合研究センター		コマツナ	ダイコン		2.6	0.55	つまみ菜 <0.01 間引き菜 <0.01 根部 <0.005 葉部 <0.01	根 0.4 葉 4
H17	岡山県	粒剤		ハクサイ		-	-	-	0.5
		フロアブル				-	-	-	
	高知県	粒剤		キュウリ		-	-	-	1
		粒剤水和剤				-	-	-	

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

表 4-3-1 クロチアニジンの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時		
H27	愛知県	ダントツ 水溶剤 (16.0%) 2,000倍希 釈 300L/10a 3回	こまつな (PBI=4日)	夏楽天	0.18	上 0.21 下 0.01	0.14	0.10	10
			こまつな (PBI=17日)		0.20	上 0.10 下 0.04	0.07	0.06	
			こまつな (PBI=31日)		0.16	上 0.06 下 0.02	0.04	0.03	
			こまつな (PBI=63日)		0.16	上 0.04 下 0.02	0.04	0.03	
	京都府農林 水産技術セ ンター	ダントツ 粒剤 (0.50%) 6kg/10a 1回	こまつな (PBI=1日)	菜々美	0.44	上 0.32 下 0.06	0.26	0.020	10
			こまつな (PBI=14日)		0.38	上 0.45 下 0.09	0.26	0.014	
			こまつな (PBI=28日)		0.18	上 0.28 下 0.08	0.20	0.011	
			こまつな (PBI=60日)		0.24	上 0.24 下 0.16	0.20	0.017	
	兵庫県	ダントツ 粒剤 (0.50%) 6kg/10a 1回	しゅんぎく (PBI=1日)	株張中葉	未測定	上 0.48 下 <0.01	0.04	0.01	10
			しゅんぎく (PBI=14日)		0.19	上 0.10 下 <0.01	0.04	0.01	
			しゅんぎく (PBI=28日)		0.38	上 0.14 下 <0.01	0.10	0.01	
			しゅんぎく (PBI=60日)		0.40	上 0.31 下 0.01	0.08	0.02	
	香川県農業 試験場	ダントツ 水溶剤 (16.0%) 2,000倍希 釈 300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	楽天	未測定	0.83	0.37	0.07	10
			こまつな (PBI=14日)		0.92	上 0.32 下 0.02	0.23	0.06	
			こまつな (PBI=28日)		0.84	上 0.21 下 0.01	0.21	0.06	
			こまつな (PBI=60日)		0.66	上 0.18 下 <0.01	0.20	0.04	
高知県	ダントツ 水溶剤 (16.0%) 2,000倍希 釈 300L/10a 3回	しゅんぎく (PBI=1日)	きわめ中葉 春菊	0.60	未測定	0.18	0.04	10	
		しゅんぎく (PBI=15日)		0.61	上 0.23 下 0.24	0.10	0.04		
		しゅんぎく (PBI=28日)		0.54	上 0.12 下 0.19	0.12	0.02		
		しゅんぎく (PBI=60日)		0.48	上 0.11 下 0.10	0.07	0.02		
熊本県	ダントツ 水溶剤 (16.0%) 2,000倍希 釈 300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	みなみ	0.65	上 0.38 下 0.22	0.28	0.01	10	
		こまつな (PBI=15日)		0.72	上 0.36 下 0.18	0.27	0.01		
		こまつな (PBI=28日)		0.71	上 0.32 下 0.28	0.18	0.01		
		こまつな (PBI=60日)		0.61	上 0.20 下 0.10	0.22	0.01		

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

表 4-3-2 クロチアニジンの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物 ^{*1,2}	品種	最終 処理後 濃度		
H25	愛知県農業総合試験場	ダントツ水和剤 (16%) 慣行量区： 2,000倍， 1/3量区： 6,000倍， 1/5量区： 1,000倍， 300L/10a	なし	コマツナ(慣行量 処理区)(薬剤処 理26日)	よかった 菜	0.58	上 0.73 下 0.18	0.20
				コマツナ(1/3量 処理区)(薬剤処 理26日)		0.15	上 0.21 下 0.05	0.05
				コマツナ(1/5量 処理区)(薬剤処 理26日)		0.10	上 0.04 下 0.04	0.03
				コマツナ(慣行量 処理区)(薬剤処 理26日)	菜々 子	0.58	上 0.73 下 0.18	0.19
				コマツナ(慣行量 処理区)(薬剤処 理26日)	菜々 美	0.58	上 0.73 下 0.18	0.20
	京都府農林水産技術センター	ダントツ粒剤 (0.5%) 慣行量区： 6kg/10a， 1/3量区： 2kg/10a， 1/5量区： 1.2kg/10a	なし	コマツナ(慣行量 処理区)(薬剤処 理27日)	よかった 菜	0.90	上 0.22 下 0.02	0.08
				コマツナ(1/3量 処理区)(薬剤処 理27日)		0.68	上 0.22 下 0.02	0.02
				コマツナ(1/5量 処理区)(薬剤処 理27日)		0.58	上 0.07 下 0.01	0.02
				コマツナ(慣行量 処理区)(薬剤処 理27日)	楽天	0.90	上 0.22 下 0.02	0.06
				コマツナ(慣行量 処理区)(薬剤処 理27日)	菜々 美	0.90	上 0.22 下 0.02	0.06
	山口県農林総合技術センター	ダントツ水和剤 (16%) 慣行量： 2,000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ(慣 行量処理区)(薬 剤処理92日)	サマ ーズ	0.35	上 0.48 下 0.14	0.16
				ハウレンソウ (1/3量処理区) (薬剤処理92日)		0.20	上 0.18 下 0.05	0.04
				ハウレンソウ (1/5量処理区) (薬剤処理92日)		0.11	上 0.10 下 0.02	0.03
				ハウレンソウ(慣 行量処理区)(薬 剤処理92日)	ハン ター	0.18	上 0.20 下 0.03	0.12
				ハウレンソウ(慣 行量処理区)(薬 剤処理92日)	クロ ーネ	0.18	上 0.20 下 0.03	0.12
徳島県立農林水産総合技術支援センター	ダントツ粒剤 (0.5%) 慣行量区： 6kg/10a， 1/3量区： 2kg/10a， 1/5量区： 1.2kg/10a	なし	コマツナ(慣行量 処理区)(薬剤処 理27日)	よかった 菜	0.20	上 0.18 下 0.18	0.03	
			コマツナ(1/3量 処理区)(薬剤処 理27日)		0.15	上 0.06 下 0.04	0.01	
			コマツナ(1/5量 処理区)(薬剤処 理27日)		0.07	上 0.04 下 0.02	<0.01	
			コマツナ(慣行量 処理区)(薬剤処 理27日)	みな み	0.20	上 0.18 下 0.18	0.01	
			コマツナ(慣行量 処理区)(薬剤処 理27日)	いな むら	0.20	上 0.18 下 0.18	0.01	

表 4-3-3 クロチアニジンの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3
H24	京都府農林 水産技術セ ンター	ダントツ水溶 剤 (16%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理45日)	耐病ひかり	-	上 0.92 下 0.21	根 <0.01 葉 0.04	根 0.5 葉 40
				カブ(遅延区) (薬剤処理125日)	耐病ひかり	-	上 0.87 下 0.11	根 <0.01 葉 <0.01	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理134日)	真紅金時	-	上 0.92 下 0.21	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.2 葉 2
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理190日)	真紅金時	-	上 0.87 下 0.11	根 <0.01 葉 <0.01	
	兵庫県立農 林水産技術 総合センタ ー	ダントツ水溶 剤 (16%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理49日)	CRもちばな	-	上 0.320 下 <0.005	根 <0.01 葉 0.05	根 0.5 葉 40
				カブ(遅延区) (薬剤処理103日)	CRもちばな	-	上 0.154 下 0.007	根 <0.01 葉 0.04	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理117日)	向陽二号	-	上 0.192 下 <0.005 0.005	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.2 葉 2
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理175日)	向陽二号	-	上 0.143 下 <0.005 0.007	根 <0.01 葉 <0.01	
	徳島県立農 林水産総合 技術支援セ ンター農業 研究所	ダントツ水溶 剤 (16%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(シルト質植壊土) (早期区)(薬剤処理 46日)	CRもちばな	-	上 0.17 下 0.12	根 0.02 葉 0.07	根 0.5 葉 40
				カブ(シルト質植壊土) (遅延区)(薬剤処理 96日)	CRもちばな	-	上 0.05 下 0.04	根 <0.02 葉 <0.02	
				カブ(砂土)(早期区) (薬剤処理46日)	CRもちばな	-	上 0.25 下 0.14	根 0.04 葉 0.12	
				カブ(砂土)(遅延区) (薬剤処理74日)	CRもちばな	-	上 0.06 下 0.06	根 0.02 葉 0.06	
H22	高知県農業 技術センタ ー	ダントツ水溶 剤(16%) 2000倍×3回 300L/10a	なし	コマツナ 露地	夏楽天	0.76	0.28	0.049	10
				チンゲンサイ 露地	長陽			0.017	10
				ハウレンソウ 露地	ニューアン ナR4			0.064	40
	徳島県立農 林水産総合 技術支援セ ンター農業 研究所	ダントツ水溶 剤 (16%) 2000倍 300L/10a	なし	コマツナ 露地	はっけい	0.52	0.21	0.06	10
				チンゲンサイ 露地	青冨			0.04	10
				ハウレンソウ 露地	ビジョン			0.15	40
H21	高知県農業 技術センタ ー	ダントツ粒剤 (0.5%) 2,222kg/10a ダントツ水和 剤(20%) 2000倍×3回 300L/10a	キュウ リ	コマツナ 施設	夏楽天	1.2	0.59	0.051	10
H19	香川県 農業試験場	ダントツ粒剤 (0.5%) 6kg/10a	ネギ	ハウレンソウ	強力オーラ イ	0.8	0.08	0.01	40
	奈良県農業 総合センタ ー	ダントツ粒剤 (0.5%) 6kg/10a	ネギ	コマツナ	楽天	0.56	0.07	<0.01	10
				ミズナ	ジャキサラ 水菜			<0.01	10
				シュンギク	株張り中 葉新菊			<0.01	10
H18	奈良県農業 総合センタ ー	クロチアニジ ン粒剤 6kg/10a	ネギ	シュンギク	株張り中 葉新菊		0.38	0.21	10

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

※3：作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

表 4-4 クロルフェナピル

年度	調査実施機関	試験条件				土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度		
H20	京都府 農業総 合研究 所	コテツフ ロアブル (10%) 2000 倍 300L/10a	ねぎ	こまつな	—	耕起区	耕起区	<0.01	5
				みずな	—	0.20	0.10~0.12	<0.01	10
				はたけ菜	—	0.21	不耕起区 0.13~0.19	<0.01	10
H19	徳島県 立農林 水産総 合技術 支援セ ンター	コテツ 水和剤 (10%) 2000 倍 200L/10a	こまつな	ほうれんそう	—	0.04	0.03	<0.03	3
H18	埼玉県 農林総 合研究 センタ ー	水和剤 15g/10a	こまつな	ほうれんそう	—	—	0.13	<0.01	3

表 4-5 クロルフルアズロン

年度	調査実施機関	試験条件				土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物	品種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度		
過年度の調査実績なし									

表 4-6 シアゾファミド

年度	調査実施機関	試験条件				土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終 処理後 濃度	作付け時 (は種時) 濃度		
H19	宮城県 農業・園 芸研究 所	ランマン フロアブ ル (9.4%) 2000 倍 300L/10a	ほうれん そう	こまつな	—	<0.02	<0.02	<0.02	15

表 4-7-1 ジノテフランの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時		
H27	北海道 立総合 研究機 構	スタークル顆粒 水溶剤 (20.0%) 240倍 3L/m ² 1回	こまつな (PBI=0日)	よかつた菜	未測定	—※	—※	—※	10
			こまつな (PBI=15日)		—※	—※	—※		
			こまつな (PBI=27日)		—※	—※	—※		
			こまつな (PBI=61日)		—※	—※	—※		
	宮城県	アルバリン顆粒 水溶剤 (20.0%) 2,000倍, 300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	きよすみ	未測定	上 0.87 下<0.01	0.63	0.03	10
			こまつな (PBI=14日)		0.95	上 0.87 下<0.01	0.71	0.01	
			こまつな (PBI=28日)		0.96	上 0.78 下<0.01	0.74	0.03	
			こまつな (PBI=62日)		0.88	上 0.76 下<0.01	0.78	0.02	
	愛知県	アルバリン顆粒 水溶剤 (20.0%) 2,000倍, 300L/10a 3回	こまつな (PBI=4日)	夏楽天	0.24	上 0.14 下 0.04	0.02	0.08	10
			こまつな (PBI=17日)		0.20	上 0.02 下 0.04	<0.01	0.02	
			こまつな (PBI=31日)		0.20	上 0.01 下 0.02	<0.01	0.02	
			こまつな (PBI=63日)		0.18	上<0.01 下<0.01	<0.01	0.01	
	京都府 農林水 産技術 センタ ー	スタークル粒剤 (1.0%) 6kg/10a 1回	こまつな (PBI=1日)	菜々美	0.38	上 0.37 下<0.01	0.08	0.11	10
			こまつな (PBI=14日)		0.74	上 0.40 下 0.01	0.06	0.06	
			こまつな (PBI=28日)		0.70	上 0.48 下<0.01	0.10	0.05	
			こまつな (PBI=60日)		0.80	上 0.40 下 0.04	0.05	0.07	
山口県 農林総 合技術 センタ ー	スタークル顆粒 水溶剤 (20.0%) 2000倍 300L/10a 3回	こまつな (PBI=1日)	夏楽天	未測定	上 0.52 下 0.04	0.31	0.58	10	
		こまつな (PBI=14日)		0.64	上 0.42 下 0.06	0.26	0.62		
		こまつな (PBI=28日)		0.52	上 0.26 下 0.09	0.22	0.58		
		こまつな (PBI=60日)		0.28	上 0.25 下 0.14	0.16	0.32		

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。
※良好な回収率が得られなかった等の理由から信頼性のある分析値が得られなかった。

表 4-7-2 ジノテフランの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H25	北海道立 総合研究 機構中央 農業試験 場	スタークル 粒剤 (1.0%) 慣行量区： 6kg/10a, 1/3量区： 2kg/10a, 1/5量区： 1.2kg/10a	なし	コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 30 日)	よかった菜	0.48	0.33	0.38	10
				コマツナ (1/3 量処 理区) (薬剤処理 30 日)		0.12	0.20	0.09	
				コマツナ (1/5 量処 理区) (薬剤処理 30 日)		0.04	0.08	0.04	
				コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 30 日)	CR 緑郷 EX	0.48	0.33	0.28	
				コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 30 日)	浜ちゃん	0.48	0.33	0.28	
	宮城県農 業園芸総 合研究所	アルバリン 顆粒水溶剤 (20%) 慣行量区： 2,000 倍, 300L/10a	なし	ハウレンソウ (慣行 量処理区) (薬剤処理 41 日)	サマーズ	1.56	上 1.52 下 0.10	0.27	15
				ハウレンソウ (1/3 量処理区) (薬剤処理 41 日)		0.81	上 0.83 下 0.10	0.25	
				ハウレンソウ (1/5 量処理区) (薬剤処理 41 日)		0.48	上 0.48 下 0.12	0.23	
				ハウレンソウ (慣行 量処理区) (薬剤処理 41 日)	クロノス	-	-	0.35	
				ハウレンソウ (慣行 量処理区) (薬剤処理 41 日)	スーパー アリーナ	-	-	0.23	
	愛知県農 業総合試 験場	アルバリン 顆粒水溶剤 (20%) 慣行量区： 2,000 倍, 1/3量区： 6,000 倍, 1/5量区： 10,000 倍, 300L/10a	なし	コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 26 日)	よかった菜	0.48	上 0.53 下 0.15	0.06	10
				コマツナ (1/3 量処 理区) (薬剤処理 26 日)		0.12	上 0.16 下 0.04	0.04	
				コマツナ (1/5 量処 理区) (薬剤処理 26 日)		0.06	上 0.04 下 0.04	0.02	
				コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 26 日)	菜々子	0.48	上 0.53 下 0.15	0.06	
				コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 26 日)	菜々美	0.48	上 0.53 下 0.15	0.05	
	京都府農 林水産技 術センタ ー	アルバリン 粒剤 (1.0%) 慣行量区： 6kg/10a, 1/3量区： 2kg/10a, 1/5量区： 1.2kg/10a	なし	コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 27 日)	よかった菜	1.18	上 0.46 下 0.03	0.22	10
				コマツナ (1/3 量処 理区) (薬剤処理 27 日)		0.54	上 0.20 下 0.05	0.04	
				コマツナ (1/5 量処 理区) (薬剤処理 27 日)		0.22	上 0.06 下 0.02	0.04	
				コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 27 日)	楽天	1.18	上 0.46 下 0.03	0.18	
				コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 27 日)	菜々美	1.18	上 0.46 下 0.03	0.27	

表 4-7-3 ジノテフランの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H25	地方独立 行政法人 大阪府立 環境農林 水産総合 研究所	アルバリン 粒剤 (1.0%) 慣行量区： 6kg/10a, 1/3量区： 2kg/10a, 1/5量区： 1.2kg/10a	なし	コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 35 日)	よかった菜	0.878	上 0.294 下 0.054	0.120	10
				コマツナ (1/3量処 理区) (薬剤処理 35 日)		0.489	上 0.186 下 0.056		
				コマツナ (1/5量処 理区) (薬剤処理 35 日)		0.324	上 0.130 下 0.052		
				コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 35 日)	ひとみ	0.878	上 0.294 下 0.054	0.170	
				コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 35 日)	楽天	0.878	上 0.294 下 0.054		
兵庫県農林 水産技術総 合センター	アルバリン 粒剤 (1.0%) 慣行量区： 6kg/10a 1/3量区： 2kg/10a 1/5量区： 1.2kg/10a	なし	ホウレンソウ (慣行 量処理区) (薬剤処理 31日)	サマーズ	0.53	上 0.44 下 <0.01	0.03	15	
			ホウレンソウ (1/3 量処理区) (薬剤処理 31日)		0.18	上 0.12 下 <0.01			
			ホウレンソウ (1/5 量処理区) (薬剤処理 31日)		0.12	上 0.06 下 <0.01			<0.01
			ホウレンソウ (慣行 量処理区) (薬剤処理 30日)	ミラージュ	0.52	上 0.37 下 <0.01	0.03		
			ホウレンソウ (慣行 量処理区) (薬剤処理 34日)	サマースカ イ R7	0.56	上 0.44 下 <0.01	0.02		
徳島県立農 林水産総合 技術支援セ ンター	スタークル 粒剤 (1.0%) 慣行量： 6kg/10a, 1/3量区： 2kg/10a, 1/5量区： 1.2kg/10a	なし	コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 27 日)	よかった 菜	1.45	上 0.41 下 0.37	0.04	10	
			コマツナ (1/3量処 理区) (薬剤処理 27 日)		0.13	上 0.10 下 0.06			0.02
			コマツナ (1/5量処 理区) (薬剤処理 27 日)		0.10	上 0.05 下 0.05			0.01
			コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 27 日)	みなみ	1.45	上 0.41 下 0.37	0.09		
			コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 27 日)	いなむら	1.45	上 0.41 下 0.37	0.14		
高知県農業 技術センタ ー	スタークル 顆粒水和剤 (20%) 2,000倍 300L/10a	なし	コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 32 日)	よかった 菜	0.32	上 0.12 下 0.14	0.03	10	
			コマツナ (1/3量処 理区) (薬剤処理 32 日)		0.11	上 0.07 下 0.06			0.02
			コマツナ (1/5量処 理区) (薬剤処理 32 日)		0.08	上 0.04 下 0.04			0.01
			コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 32 日)	極楽天	0.32	上 0.12 下 0.14	0.02		
			コマツナ (慣行量処 理区) (薬剤処理 32 日)	夏楽天	0.32	上 0.12 下 0.14	0.02		

表 4-7-4 ジノテフランの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H24	愛知県農業総合試験場	アルバリン 顆粒水溶剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区)	耐病ひかり	-	0.62	根 0.04 葉 0.20	根 0.5 葉 5
				カブ(遅延区)	耐病ひかり		0.08	根 <0.01 葉 0.02	
				ハツカダイコン(早期区)	コメット		0.28	根 0.10 葉 0.54	根 0.5 葉 10
				ハツカダイコン(遅延区)	コメット		0.04	根 0.02 葉 0.20	
		アルバリン 粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	カブ(早期区)	耐病ひかり		0.51	根 0.02 葉 0.14	根 0.5 葉 5
				カブ(遅延区)	耐病ひかり		0.04	根 0.01 葉 0.03	
				ハツカダイコン(早期区)	コメット		0.48	根 0.10 葉 0.88	根 0.5 葉 10
				ハツカダイコン(遅延区)	コメット		0.09	根 0.02 葉 0.30	
京都府農林水産技術センター	スタークル 顆粒水溶剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区)	耐病ひかり		上 0.92 下 0.50	根 <0.01 葉 0.04	根 0.5 葉 5	
			カブ(遅延区)	耐病ひかり		上 0.88 下 0.21	根 <0.01 葉 0.02		
			ニンジン(早期区)	真紅金時		上 0.92 下 0.50	根 <0.01 葉 0.01	根 1 葉 5	
			ニンジン(遅延区)	真紅金時		上 0.88 下 0.21	根 <0.01 葉 <0.01		
山口県農林総合技術センター	スタークル 水溶剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区)	耐病ひかり		上 0.13 下 0.16	根 <0.01(0.008) 葉 0.04	根 0.5 葉 5	
			カブ(遅延区)	耐病ひかり		上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01(0.007)		
			ニンジン(早期区)	向陽二号		上 0.13 下 0.16	根 <0.01(0.005) 葉 0.03	根 1 葉 5	
			ニンジン(遅延区)	向陽二号		上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.008 (0.004)		
香川県農業試験場	アルバリン 顆粒水溶剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区)	たかね		0.14	根 <0.01 葉 0.02	根 0.5 葉 5	
			カブ(遅延区)	たかね		<0.01	根 <0.01 葉 <0.01		
			ハツカダイコン(早期区)	コメット		0.14	根 0.01 葉 0.05	根 0.5 葉 10	
			ハツカダイコン(遅延区)	コメット		<0.01	根 <0.01 葉 0.01		

表 4-7-5 ジノテフランの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H23	高知県 農業技術 センター	スタークル 粒剤 (20%) 2,000 倍 300L/10a	なし	カブ (葉) (早期区) (薬剤処理 56 日)	スワン	0.82	上 0.21 下 0.26	0.02	根 0.5 葉 5
				カブ (葉) (遅延区) (薬剤処理 92 日)	スワン		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.008)	
				カブ (根) (早期区) (薬剤処理 56 日)	スワン		上 0.21 下 0.26	<0.01 (0.006)	
				カブ (根) (遅延区) (薬剤処理 92 日)	スワン		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.001)	
				ニンジン (葉) (早期 区) (薬剤処理 85 日)	向陽 二号		上 0.21 下 0.26	0.02	根 1 葉 5
				ニンジン (遅延区) (薬剤処理 125 日)	向陽 二号		上 0.03 下 0.06	0.01	
				ニンジン (根) (早期 区) (薬剤処 85 日)	向陽 二号		上 0.21 下 0.26	<0.01 (0.003)	
				ニンジン (根) (遅延 区) (薬剤処理 125 日)	向陽 二号		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.003)	
				コマツナ (早期区) (薬剤処理 41 日)	夏楽天		上 0.21 下 0.26	0.03	10
				コマツナ (遅延区) (薬剤処理 74 日)	夏楽天		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.006)	
	スタークル 粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	カブ (葉) (早期区) (薬剤処理 56 日)	スワン	1.2	上 0.25 下 0.28	0.05	根 0.5 葉 5	
			カブ (葉) (遅延区) (薬剤処理 92 日)	スワン		上 0.06 下 0.14	0.01		
			カブ (根) (早期区) (薬剤処理 56 日)	スワン		上 0.25 下 0.28	0.01		
			カブ (根) (遅延区) (薬剤処理 92 日)	スワン		上 0.06 下 0.14	<0.01 (0.005)		
			ニンジン (葉) (早期 区) (薬剤処理 85 日)	向陽 二号		上 0.25 下 0.28	0.03	根 1 葉 5	
			ニンジン (遅延区) (薬剤処理 125 日)	向陽 二号		上 0.06 下 0.14	0.02		
			ニンジン (根) (早期 区) (薬剤処 85 日)	向陽 二号		上 0.25 下 0.28	<0.01 (0.006)		
			ニンジン (根) (遅延 区) (薬剤処理 125 日)	向陽 二号		上 0.06 下 0.14	<0.01 (0.004)		
			コマツナ (早期区) (薬剤処理 41 日)	夏楽天		上 0.25 下 0.28	0.06	10	
			コマツナ (遅延区) (薬剤処理 74 日)	夏楽天		上 0.06 下 0.14	<0.01 (0.007)		
香川県農 業試験場	アルバリン 顆粒水和剤 (20%) 2,000 倍 300L/10a	なし	コマツナ (早期区) (薬剤処理 32 日)	楽天	0.78	0.16	0.18	10	
			コマツナ (遅延区) (薬剤処理 92 日)	楽天		<0.01 (0.00 3)	0.02		
			チンゲンサイ (早期 区) (薬剤処理 37 日)	青帝		0.16	0.12	10	
			チンゲンサイ (遅延 区) (薬剤処理 98 日)	青帝		<0.01 (0.00 3)	0.01		
			ホウレンソウ (早期 区) (薬剤処理 42 日)	おかめ		0.16	0.08	15	
			ホウレンソウ (遅延 区) (薬剤処理 108 日)	おかめ		<0.01 (0.00 3)	<0.01 (0.004)		

表 4-7-6 ジノテフランの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H23	大阪府 環境農林水 産総合研究 所	アルバリン 粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	コマツナ (早期区) (薬剤処理 42 日)	ひとみ	-	0.51	0.14	10
				コマツナ (遅延区) (薬剤処理 89 日)	ひとみ	-	<0.01	<0.05	
				シロナ (早期区) (薬剤処理 42 日)	しらさぎ 菜	-	0.51	<0.05	10
				シロナ (遅延区) (薬剤処理 89 日)	しらさぎ 菜	-	<0.01	<0.05	
				シュンギク (早期区) (薬剤処理 51 日)	菊次郎	-	0.51	0.11	20
				シュンギク (遅延区) (薬剤処理 105 日)	菊次郎	-	<0.01	<0.05	
京都府農林 水産技術セ ンター	スタークル 粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	小カブ(根) (早期区) (薬剤処理 56 日)	耐病ひかり	1.08	上 0.59 下 0.09	<0.01 (0.008)	根 0.5 葉 5	
			小カブ(根) (遅延区) (薬剤処理 133 日)	耐病ひかり		上 0.36 下 0.01, <0.01 (0.007)	<0.01 (0.007)		
			小カブ(葉) (早期区) (薬剤処理 56 日)	耐病ひかり		上 0.59 下 0.09	0.05		
			小カブ(葉) (遅延区) (薬剤処理 133 日)	耐病ひかり		上 0.36 下 0.01, <0.01 (0.007)	0.02	根 1 葉 5	
			ニンジン (早期区) (薬剤処理 125 日)	真紅金時		上 0.59 下 0.09	0.01, <0.01		
			ニンジン (遅延区) (薬剤処理 213 日)	真紅金時		上 0.36 下 0.01, <0.01 (0.007)	<0.01		
岐阜県 農業技術セ ンター	スタークル 粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	ホウレンソウ (早期 区) (薬剤処理 49 日)		-	上 0.08 下 0.07	0.12	15	
			ホウレンソウ (遅延 区) (薬剤処理 78 日)		-	上 0.04 下 0.04	0.03		
			カブ (葉) (早期区) (薬剤処理 63 日)		-	上 0.08 下 0.07	0.06	根 0.5 葉 5	
			カブ (葉) (遅延区) (薬剤処理 93 日)		-	上 0.04 下 0.04	0.02		
			カブ (根) (早期区) (薬剤処理 63 日)		-	上 0.08 下 0.07	0.01, <0.01		
			カブ (根) (遅延区) (薬剤処理 93 日)		-	上 0.04 下 0.04	<0.01		
			ダイコン (葉) (早期 区) (薬剤処理 77 日)		-	上 0.08 下 0.07	0.03	根 0.5 葉 10	
			ダイコン (葉) (遅延 区) (薬剤処理 105 日)		-	上 0.04 下 0.04	0.02		
			ダイコン (根) (早期 区) (薬剤処理 77 日)		-	上 0.08 下 0.07	0.01		
			ダイコン (根) (遅延 区) (薬剤処理 105 日)		-	上 0.04 下 0.04	<0.01		

表 4-7-7 ジノテフランの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)		
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4	
H23	宮城県農業・園芸総合研究所	スタークル粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	コマツナ (早期区) (薬剤処理 42 日)	なかまち	0.31	0.24	<0.02	10	
				コマツナ (遅延区) (薬剤処理 62 日)	なかまち		0.27	<0.02		
				ミズナ (早期区) (薬剤処理 43 日)	京みぞれ		0.24	0.03	10	
				ミズナ (遅延区) (薬剤処理 78 日)	京みぞれ		0.27	0.03		
				ハウレンソウ (早期区) (薬剤処理 52 日)	スーパーアリーナ		0.24	<0.02	15	
				ハウレンソウ (遅延区) (薬剤処理 78 日)	スーパーアリーナ		0.27	<0.02		
H22	熊本県農業研究センター	スタークル顆粒水溶剤 (20%) 2000 倍 300 L /10a	なし	ハウレンソウ 露地	アトラス	0.90	0.50	0.04	15	
				コマツナ 露地	楽天	0.90	0.29	0.05	10	
				非結球レタス 露地	晩抽レッドファイアー	1.09	0.49	0.07	10	
	山口県農林総合技術センター	アルバリン顆粒水溶剤 (20%) 2000 倍 300 L /10a	なし	コマツナ	夏楽天	0.37	0.74	0.52	10	
				リーフレタス	レッドファイヤー W	0.48	0.68	0.39	25	
H21	日本植物防疫協会	スタークル粒剤 (1.0%) 9kg/10a	裸地	コマツナ 露地 (薬剤処理 30 日)	楽天	4.99	0.04	0.08	10	
				コマツナ 露地 (薬剤処理 58 日)	楽天	4.99	<0.01	0.06		
				コマツナ 露地 (薬剤処理 90 日)	楽天	4.99	<0.01	0.04		
				カブ 露地 (薬剤処理 30 日)	スワン	4.99	0.02	葉 0.28 根 0.06	葉 5 根 0.5	
				カブ 露地 (薬剤処理 58 日)	スワン	4.99	<0.01	葉 0.12 根 0.03		
				カブ 露地 (薬剤処理 90 日)	スワン	4.99	<0.01	葉 0.04 根 0.02		
	熊本県農業研究センター	スタークル顆粒水溶剤 (20%) 400 倍 0.4 L /㎡ +2000 倍 300 L /10a	コネギ	ハウレンソウ施設 (薬剤処理 10 日)	アトラス	4.33	1.22	0.18	15	
				ハウレンソウ施設 (薬剤処理 17 日)	アトラス	4.33	1.33	0.2		
	H20	日本植物防疫協会	スタークル粒剤 (1.0%) 6kg/10a	裸地	ハウレンソウ (薬剤処理 14 日)	オーライ	1.96	0.1	0.04	15
					ハウレンソウ (薬剤処理 28 日)	オーライ	1.96	0.05	0.02	
ハウレンソウ (薬剤処理 42 日)					オーライ	1.96	0.04	0.01		
ハウレンソウ (薬剤処理 58 日)					オーライ	1.96	0.02	<0.01		
徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所		スタークル粒剤 (1.0%) 6kg/10a	コマツナ	ハウレンソウ	タキノード 7	0.44	0.01	<0.02	15	

表 4-7-8 ジノテフランの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H19	日本植物 防疫協会	スタークル粒剤 (1.0%) 1g/株	ピーマン	ホウレンソウ (耕起区)	マグワイヤ ー	0.46	0.67	0.02	15
				ホウレンソウ (不耕起)	マグワイヤ ー	0.34	0.75	0.04	
	兵庫県 農林水産 技術総合 センター	スタークル粒剤 (1.0%) 6kg/10a	コマツナ	ネギ	小夏	0.346	0.021	<0.01	15

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

※3：作付け時土壌濃度について、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。

※4：土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

表 4-8 ダイアジノンの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H22	奈良県 農業総 合セン ター	ダイアジ ノン粒剤5 (5%) 6kg/10a	なし	ほうれんそう	ー	1.59	0.11	<0.01	0.1
				しゅんぎく	ー	1.59	0.11	<0.01	
H20	宮城県 農業・園 芸研究 所	ダイアジ ノン粒剤5 (5%) 9kg/10a	ほうれん そう	こまつな	ー	2.472	0.031	<0.001	0.1
	長野県 農業総 合試験 場	ダイアジ ノン粒剤 (3%) 40kg/10a	キャベツ	リーフレタス	ー	4.2	①0.01 ②<0.01	①<0.01 ②<0.01	0.1
H19	兵庫県 立農林 水産技 術総合 センタ ー	ダイアジ ノン粒剤 (5%) 6kg/10a	こまつな	ねぎ	ー	1.33	0.040	<0.01	0.1
H18	福島県	粒剤 300g/10a	えだまめ	こまつな	ー	ー	0.05	<0.01	0.1
	埼玉県	粒剤 300g/10a	こまつな	ほうれんそう	ー	ー	0.04	<0.01	0.1
	長崎県	粒剤 300g/10a	ほうれん そう	こまつな	ー	ー	1.4	<0.01	0.1
H17	島根県	粒剤	ー	キャベツ	ー	8.2	ー	ND	0.1
		乳剤	ー	キャベツ	ー	0.08	ー	ND	0.1

表 4-9 テフルトリン

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H21	岐阜県 農業技 術セン ター	フォース 粒剤 (0.5%) 4kg/10a	こまつな	ほうれんそう	—	①0.16 ②0.30	①0.05 ②0.03	①<0.01 ②<0.01	0.5
H20	奈良県 農業総 合セン ター	フォース 粒剤 (0.5%) 4kg/10a	しろな	ほうれんそう	—	①0.11 ②0.39	①0.07 ②0.10	①<0.01 ②<0.01	0.5

表 4-10-1 トルクロホスメチルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時		
H27	兵庫県	リゾレックス粉 剤 (5.0%) 40kg/10a 1回	しゅんぎく (PBI=1日)	株張中葉	未測定	上 17.6 下 0.28	1.75	0.06	2
			しゅんぎく (PBI=14日)		23.0	上 7.62 下 0.06	2.38	0.06	
			しゅんぎく (PBI=28日)		13.8	上 7.14 下 0.05	2.96	0.04	
			しゅんぎく (PBI=60日)		14.8	上 4.90 下 0.28	1.58	0.05	
	熊本県	リゾレックス水 和剤 (50.0%) 500倍 3L/m ² 1回	こまつな (PBI=1日)	みなみ	60.7	上 28.6 下 14.8	8.53	0.02	2
			こまつな (PBI=15日)		39.1	上 25.4 下 10.9	6.90	0.02	
			こまつな (PBI=28日)		47.3	上 20.2 下 15.4	1.73	<0.01	
			こまつな (PBI=60日)		38.4	上 2.68 下 1.54	0.58	<0.01	

作付け時土壌濃度は上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。

表 4-10-2 トルクロホスメチルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)						
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3					
H25	兵庫県農 林水産技 術総合セ ンター	リゾレックス 水和剤 (50%) 慣行量： 500 倍 1/3 量区： 1,500 倍 1/5 量区： 2,500 倍 3L/m ³	なし	ハウレンソウ (慣行量 処理区) (薬剤処理 31 日)	サマーズ	23.1	上 22.3 下 0.12	0.01	2.0					
				ハウレンソウ (1/3 量 処理区) (薬剤処理 31 日)		10.0	上 4.95 下 0.02	<0.01						
				ハウレンソウ (1/5 量 処理区) (薬剤処理 31 日)		4.68	上 1.44 下 0.02	<0.01						
				ハウレンソウ (慣行量 処理区) (薬剤処理 34 日)	サマー スカイ R7	22.6	上 18.5 下 0.11	0.02						
				ハウレンソウ (慣行量 処理区) (薬剤処理 30 日)	ミラージュ	26.4	上 21.0 下 0.10	<0.01						
	香川県農 業試験場	リゾレックス 水和剤 (50%) 慣行量： 500 倍 1/3 量： 1,500 倍 1/5 量： 2,500 倍 3L/m ³	なし	コマツナ (慣行量区) (薬剤処理 23 日)	よかった菜	36.2	上 26.1 下 0.54	0.13	2.0					
				コマツナ (1/3 量区) (薬剤処理 23 日)		11.3	上 5.04 下 0.30	0.08						
				コマツナ (1/5 量区) (薬剤処理 23 日)		3.68	上 0.91 下 0.05	0.03						
				コマツナ (慣行量区) (薬剤処理 23 日)	楽天	36.2	上 26.1 下 0.54	0.10						
				コマツナ (慣行量区) (薬剤処理 23 日)	浜美 2 号	36.2	上 26.1 下 0.54	0.10						
H24	大阪府立 環境農林 水産総合 研究所	リゾレックス 水和剤 (50.0%) 500 倍 3L/m ²	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 63 日)	耐病ひか り	-	上 19.82 下 13.74	根 0.06 葉 <0.01	根 2.0 葉 2.0					
				カブ(遅延区) (薬剤処理 128 日)	耐病ひか り	-	上 0.28 下 0.16	根 <0.01 葉 <0.01						
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 105 日)	時無五寸	-	上 19.82 下 13.74	根 0.14 葉 0.02	根 2.0 葉 2.0※3					
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 156 日)	時無五寸	-	上 0.28 下 0.16	根 0.01 葉 <0.01						
	高知県農 業技術セ ンター	リゾレックス 水和剤 (50.0%) 500 倍 3L/m ²	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 49 日)	スワン	-	上 10.2 下 11.0	根 0.02 葉 <0.01	根 2.0 葉 2.0					
				カブ(遅延区) (薬剤処理 123 日)	スワン	-	上 4.0 下 3.8	根 <0.01 葉 <0.01						
				ハツカダイコン(早期 区) (薬剤処理 32 日)	コメット	-	上 10.2 下 11.0	根 0.04 葉 0.01	根 2.0 葉 2.0					
				ハツカダイコン(遅延 区) (薬剤処理 106 日)	コメット	-	上 4.0 下 3.8	根 <0.01 葉 <0.01						
H23	千葉県農 林総合研 究センタ ー	リゾレックス 水和剤 (50.0%) 500 倍 3L/m ²	なし	ハツカダイコン (葉) (早期区) (薬剤処理 40 日)	ほほべに丸	-	上 15.2 下 5.80	<0.01 (<0.002)	根 2.0 葉 2.0					
				ハツカダイコン (葉) (遅延区) (薬剤処理 91 日)	レッド チャイム	-	上 0.736 下 0.882	<0.01 (<0.002)						
				ハツカダイコン (根) (早期区) (薬剤処理 40 日)	ほほべに丸	-	上 15.2 下 5.80	0.010						
				ハツカダイコン (根) (遅延区) (薬剤処理 91 日)	レッド チャイム	-	上 0.736 下 0.882	<0.005 (<0.001)						
				コカブ (葉) (遅延区) (薬剤処理 48 日)	夏の雪	-	上 15.2 下 5.80	<0.01 (<0.002)	根 2.0 葉 2.0					
										コカブ (根) (早期区) (薬剤処理 102 日)	CR 白涼	-	上 0.736 下 0.882	<0.01 (<0.002)
										コカブ (根) (早期区) (薬剤処理 48 日)	夏の雪	-	上 15.2 下 5.80	<0.005 (0.004)
										コカブ (根) (遅延区) (薬剤処理 102 日)	CR 白涼	-	上 0.736 下 0.882	<0.005

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3
H22	兵庫県 農林水産 技術総合 センター	リゾレックス 粉剤 (5%) 40kg/10a	なし	コマツナ	楽天	9.8	1.0	<0.01	2.0
				ハウレンソウ	サマードリ ーム法連草	24.4	5.9	<0.01	2.0
				シュンギク	株張中葉	9.8	7.7	0.02~ 0.04	2.0
H20	日本植物 防疫協会	リゾレックス 水和剤 (50%) 1000 倍 3L/m ²	裸地	ハウレンソウ (薬剤処理 14 日)	オーライ	46.7	3.34	<0.01	2.0
				ハウレンソウ (薬剤処理 28 日)	オーライ	46.7	0.51	<0.01	
				ハウレンソウ (薬剤処理 42 日)	オーライ	46.7	0.14	<0.01	
				ハウレンソウ (薬剤処理 58 日)	オーライ	46.7	0.06	<0.01	
H19	日本植物 防疫協会	リゾレックス 水和剤 (50%) 1000 倍 1L/株	ピー マン	ハウレンソウ (耕起区)	マグワイヤ ー	16.8	15.8	0.04	2.0
				ハウレンソウ (不耕起)	マグワイヤ ー	13.5	28.0	0.16	

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

※3：作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※4：土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

表 4-11 ヒドロキシイソキサゾール

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終 処理後 濃度		
過年度の調査実績なし								

表 4-12-1 プロシミドンの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時		
H27	宮城県	スマレックス水 和剤 (50.0%) 1,000 倍 300L/10a 3 回	こまつな (PBI=1 日)	きよすみ	未測定	上 3.92 下 0.02	上 3.25 下 0.07	0.44	5
			こまつな (PBI=14 日)		上 3.64 下 0.02	上 4.32 下 0.01	上 4.08 下 0.07	0.48	
			こまつな (PBI=28 日)		上 3.56 下 0.01	上 3.08 下 0.01	上 3.31 下 0.01	0.26	
			こまつな (PBI=62 日)		上 4.00 下 0.01	上 3.73 下 0.01	上 3.64 下 0.05	0.45	
	長野県 農業試 験場	スマレックス水 和剤 (50.0%) 1,000 倍 300L/10a 3 回	ほうれんそう (PBI=1 日)	日本ほうれ ん草	未測定	上 1.24 下 0.84	0.04	<0.01	5
			ほうれんそう (PBI=21 日)		3.38	上 0.08 下 0.06	0.06	<0.01	
			ほうれんそう (PBI=35 日)		3.38	上 0.08 下 0.06	0.06	<0.01	
			ほうれんそう (PBI=68 日)		3.46	上<0.01 下 0.02	0.05	<0.01	

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

表 4-12-2 プロシミドンの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度		
H25	宮城県 農業園芸 総合 研究所	スミレックス水和剤 (50.0%) 慣行量区： 1000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理41日）	サマーズ	4.08	上 4.31 下 0.02	1.24
				ハウレンソウ（1/3量処理区）（薬剤処理41日）		1.99	上 1.66 下 0.01	0.22
				ハウレンソウ（1/5量処理区）（薬剤処理41日）		0.98	上 1.04 下 <0.01 (0.004)	0.15
				ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理41日）	クロノス	4.08	上 4.31 下 0.02	0.82
				ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理41日）	スーパーアリーナ	4.08	上 4.31 下 0.02	0.64
	埼玉県 農林総合 センター	スミレックス水和剤 (50.0%) 慣行量区： 2000倍 1/3量区： 6000倍 1/5量区： 10000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理37日）	サマーズ	3.64	上 1.35 下 0.78	0.12
				ハウレンソウ（1/3量処理区）（薬剤処理37日）		0.98	上 0.48 下 0.21	0.02
				ハウレンソウ（1/5量処理区）（薬剤処理37日）		0.52	上 0.36 下 0.11	0.01
				ハウレンソウ（1/3量処理区）（薬剤処理42日）	トリトン	3.64	上 1.35 下 0.78	0.06
				ハウレンソウ（1/3量処理区）（薬剤処理35日）	プリウスアーリー7	3.64	上 1.35 下 0.78	0.1
	長野県 農業試験場	スミレックス水和剤 (50.0%) 慣行量区： 1000倍 1/3量区： 3000倍 1/5量区： 5000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理39日）	サマーズ	1.22	上 0.92 下 0.62	<0.01
				ハウレンソウ（1/3量処理区）（薬剤処理39日）		0.56	上 0.31 下 0.24	<0.01
ハウレンソウ（1/5量処理区）（薬剤処理39日）				0.53		上 0.22 下 0.15	<0.01	
ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理40日）				スーパーアリーナ7	1.22	上 0.92 下 0.62	<0.01	
ハウレンソウ（1/3量処理区）（薬剤処理40日）					0.56	上 0.31 下 0.24	<0.01	
ハウレンソウ（1/5量処理区）（薬剤処理40日）					0.53	上 0.22 下 0.15	<0.01	
ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理40日）				プリウスアーリー7	1.22	上 0.92 下 0.62	<0.01	
ハウレンソウ（1/3量処理区）（薬剤処理40日）					0.56	上 0.31 下 0.24	<0.01	
ハウレンソウ（1/5量処理区）（薬剤処理40日）	0.53	上 0.22 下 0.15	<0.01					
岐阜県 農業技術 センター	スミレックス水和剤 (50%) 慣行量区： 1,000倍 1/3量区： 3,000倍 1/5量区： 5,000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理82日）	サマーズ	2.96	上 1.70 下 1.46	0.22	
			ハウレンソウ（1/3量処理区）（薬剤処理82日）		1.22	上 0.42 下 0.46	0.02	
			ハウレンソウ（1/5量処理区）（薬剤処理82日）		0.63	上 0.20 下 0.20	<0.01	
			ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理83日）	スーパーアリーナ7	2.96	上 1.70 下 1.46	0.13	
			ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理83日）	ハンター	2.96	上 1.70 下 1.46	0.22	
奈良県 農業総合 センター	スミレックス水和剤 (50%) 慣行区： 1000倍 1/3量区： 3000倍 1/5量区： 5000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理36日）	サマーズ	3.37	上 1.98 下 0.27	0.08	
			ハウレンソウ（1/3量処理区）（薬剤処理36日）		1.12	上 1.08 下 0.03	0.05	
			ハウレンソウ（1/5量処理区）（薬剤処理36日）		0.60	上 0.54 下 0.02	0.03	
			ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理36日）	アンナ	3.37	上 1.98 下 0.27	0.08	
			ハウレンソウ（慣行量処理区）（薬剤処理36日）	ミラージュ	3.37	上 1.98 下 0.27	0.15	

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H24	岐阜県 農業技術センター	スミレックス水和剤 (50%) 1000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 50日)	白盃	-	上 1.46 下 1.46	根 0.18 葉 1.20	根 0.5 葉 5
				カブ(遅延区) (薬剤処理 163日)	白盃	-	上 0.78 下 0.84	根 0.01 葉 0.04	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 30日)	コメント	-	上 1.46 下 1.46	根 0.48 葉 4.10	根 0.5 葉 5
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 113日)	コメント	-	上 0.78 下 0.84	根 <0.01 葉 <0.01	
	大阪府 立環境農林水産総合研究所	スミレックス水和剤 (50%) 1000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 63日)	耐病ひかり	-	上 3.33 下 2.58	根 0.26 葉 0.94	根 0.5 葉 5
				カブ(遅延区) (薬剤処理 128日)	耐病ひかり	-	上 0.20 下 0.06	根 <0.01 葉 0.01	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 105日)	時無五寸	-	上 3.33 下 2.58	根 0.42 葉 0.22	根 0.5 葉 5※3
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 156日)	時無五寸	-	上 0.20 下 0.06	根 0.01 葉 0.01	
	兵庫県 立農林水産技術総合センター	スミレックス水和剤 (50%) 1000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 49日)	CRもちばな	-	上 2.060 下 0.024	根 0.01 葉 0.17	根 0.5 葉 5
				カブ(遅延区) (薬剤処理 103日)	CRもちばな	-	上 1.472 下 0.012	根 <0.01 葉 0.01	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 117日)	向陽二号	-	上 1.822 下 0.009	根 0.01 葉 0.02	根 0.5 葉 5※3
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 175日)	向陽二号	-	上 1.166 下 0.008	根 <0.01 葉 <0.01	
奈良県 農業総合センター	スミレックス水和剤 (50%) 1000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 50日)	耐病ひかり	-	上 1.41 下 0.14	根 0.14 葉 0.26	根 0.5 葉 5	
			カブ(遅延区) (薬剤処理 105日)	耐病ひかり	-	上 1.96 下 0.01, <0.01	根 0.08 葉 0.32		
			ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 50日)	コメント	-	上 1.41 下 0.14	根 0.19 葉 1.45	根 0.5 葉 5	
			ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 105日)	コメント	-	上 1.96 下 0.01, <0.01	根 0.10 葉 0.85		
H23	熊本県 農業研究センター	スミレックス水和剤 (50%) 1,000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ(早期区) (薬剤処理 40日)	アトラス	4.04	上 2.00 下 1.90	0.02	5
				ハウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 63日)	アトラス		上 1.88 下 1.92	<0.01 (n. d.)	
				コマツナ(早期区) (薬剤処理 40日)	楽天		上 2.00 下 1.90	0.03	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 55日)	楽天		上 1.88 下 1.92	<0.01 (n. d.)	
				コネギ(早期区) (薬剤処理 80日)	鴨頭ねぎ		上 2.00 下 1.90	0.05	5
				コネギ(遅延区) (薬剤処理 63日)	鴨頭ねぎ		上 1.88 下 1.92	<0.01 (n. d.)	

表 4-12-4 プロシミドンの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg) ※4	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物※1,2	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度※3,4
H23	長野県農業試験場	スミレックス水和剤 (50%) 1,000倍 300L/10a	なし	ホウレンソウ(早期区) (薬剤処理 56日)	オータム	上 1.77 下 0.40	上 0.36	<0.01 (n. d.)	5
				ホウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 125日)	オータム		下 0.27	<0.01 (n. d.)	
				コマツナ(早期区) (薬剤処理 40日)	照彩		上 0.25	<0.01 (n. d.)	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 125日)	照彩		下 0.38	0.01	
				リーフレタス(早期区) (薬剤処理 55日)	アーリー インパルス		上 0.36	<0.01 (n. d.)	5
				リーフレタス(遅延区) (薬剤処理 117日)	アーリー インパルス		下 0.29	<0.01 (n. d.)	
H22	栃木県農業試験場	スミレックス水和剤 (50%) 1000倍 300L/10a	なし	コマツナ 露地	照彩	2.45	3.96	0.11	5
				ホウレンソウ 露地	アトラス	2.87	3.97	0.03	5
H21	埼玉県農林総合研究センター	スミレックス水和剤 (50%) 1000倍 100L/10a	ナス	シュンギク露地 (早期区・マルチ)	おきく3号	-	0.18	0.02	5
				シュンギク露地 (遅延区・マルチ)	おきく3号	-	0.12	0.01	
				シュンギク露地 (遅延区・無被覆)	おきく3号	-	0.12	0.06	
	栃木県農業試験場	スミレックス水和剤 (50%) 2000倍 150L/10a	トマト	シュンギク施設 (早期区)	きわめ中葉	1.19	0.48	0.02	5
シュンギク施設 (遅延区)				きわめ中葉	1.19	0.36	0.01		

※1：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※2：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

※3：作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※4：土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

表 4-13 プロベナゾールの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終 処理後 濃度		
過年度の調査実績なし								

表 4-14 ベンチアバリカルブイソプロピルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終 処理後 濃度		
過年度の調査実績なし								

表 4-15-1 ミクロブタニルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終散 布処理 後濃度			は種時 濃度
H25	奈良県農業総合センター	ラリー水和剤 (10%) 慣行区: 2,000倍 1/3量区: 6,000倍 1/5量区: 10,000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ(慣行量処理区) (薬剤処理 36日)	サマーズ	0.45	上 0.28	<0.01	1
				ハウレンソウ(1/3量処理区) (薬剤処理 36日)			下 0.04		
				ハウレンソウ(1/5量処理区) (薬剤処理 36日)		上 0.13	<0.01		
				ハウレンソウ(慣行量処理区) (薬剤処理 36日)	0.08	下 <0.01	<0.01		
				ハウレンソウ(慣行量処理区) (薬剤処理 36日)	アンナ	0.45	上 0.28	<0.01	
	ハウレンソウ(慣行量処理区) (薬剤処理 36日)	ミラージュ	0.45	上 0.28	<0.01				
	熊本県農業研究センター	ラリー水和剤 (10%) 2,000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ(慣行量処理区) (薬剤処理 43日)	サマーズ	0.40	上 0.18**	<0.01	1
				ハウレンソウ(1/3量処理区) (薬剤処理 43日)			下 0.14		
				ハウレンソウ(1/5量処理区) (薬剤処理 43日)		0.18	上 0.06**	<0.01	
				ハウレンソウ(慣行量処理区) (薬剤処理 43日)	0.10	下 0.04	<0.01		
ハウレンソウ(慣行量処理区) (薬剤処理 43日)				アトラス	0.40	上 0.18**	<0.01		
ハウレンソウ(慣行量処理区) (薬剤処理 43日)				ミストラル	0.40	上 0.18**	<0.01		
H24	奈良県農業総合センター	ラリー水和剤 (10%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 50日)	耐病ひかり	-	上 0.16	根 <0.01	0.01 (一律基準)
				カブ(遅延区) (薬剤処理 105日)	耐病ひかり	-	上 0.19	根 <0.01	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 50日)	コメット	-	下 0.01 <0.01	根 <0.01	0.01 (一律基準)
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 105日)	コメット	-	上 0.16	根 <0.01	
H24	高知県農業技術センター	ラリー水和剤 (10%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 49日)	スワン	-	上 0.16	根 <0.01	0.01 (一律基準)
				カブ(遅延区) (薬剤処理 74日)	スワン	-	上 0.19	根 <0.01	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 32日)	コメット	-	下 0.09	根 <0.01	0.01 (一律基準)
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 50日)	コメット	-	上 0.16	根 <0.01	
H23	香川県農業試験場	ラリー水和剤 (10%) 2000倍 300L/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理 32日)	楽天	-	上 0.16	0.01	0.03**3
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 92日)	楽天	-	上 0.10	0.004	
				チンゲンサイ(早期区) (薬剤処理 37日)	青帝	-	下 0.18	<0.01 (0.002)	1
				チンゲンサイ(遅延区) (薬剤処理 58日)	青帝	-	上 0.09	<0.01	
				ハウレンソウ(早期区) (薬剤処理 42日)	おかめ	-	下 0.09	<0.01	1
				ハウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 108日)	おかめ	-	上 0.16	<0.01	

※1: 後作の土壌中の濃度について、上段:最終散布処理後の濃度、下段:は種時の濃度を示す。

※2: 平成24年12月28日告示により、現在の基準値は9(レタス(サラダ菜及びちしやを含む。))、0.01(一律基準)である。

表 4-15-2 ミクロブタニルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終散 布処理 後濃度			は種時 濃度
H21	日本植物 防疫協会	ラリー乳剤 (25.0%) 3000 倍 300L/10a	裸地	コマツナ 露地 (薬剤処理 30 日)	楽天	0.99	0.28	0.01	0.03 ^{※2}
				コマツナ 露地 (薬剤処理 58 日)	楽天	0.99	0.20	<0.01	
				コマツナ 露地 (薬剤処理 90 日)	楽天	0.99	0.14	<0.01	
				カブ 露地 (薬剤処理 30 日)	スワン	0.99	0.28	葉<0.01 根<0.01	葉 0.03 ^{※2} 根 0.03 ^{※2}
				カブ 露地 (薬剤処理 58 日)	スワン	0.99	0.20	葉<0.01 根<0.01	
				カブ 露地 (薬剤処理 90 日)	スワン	0.99	0.14	葉<0.01 根<0.01	
H19	高知県農 業 技術セン ター	ラリー水和剤 (10%) 4000 倍 300L/10a	キュウ リ	メロン	雅夏系	-	0.14	<0.01	1
H18	香川県農 業試験場	ラリー乳剤 (25%) 18.8g /10a	ネギ	リーフレタス	グリーン ウェーブ	-	0.13	0.005	0.03 ^{※2}

※1： 後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す。

※2： 平成 24 年 12 月 28 日告示により、現在の基準値は 9（レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）、0.01（一律基準）である。

表 4-16-1 メタラキシルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物 (試験区)	品種	最終 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時			
H27	長野県 農業試 験場	リドミル粒剤 (2.0%) 6kg/10a 1 回	ほうれんそう (PBI=1 日)	日本ほうれ ん草	未測定	上 0.92	0.24	0.01	2	
			ほうれんそう (PBI=21 日)			下 0.21				
			ほうれんそう (PBI=35 日)			上 0.16				0.02
			ほうれんそう (PBI=68 日)			下 0.14				
		1.19	上 0.08	0.04	<0.01					
		1.09	下 0.09							
					上 0.02	0.01	<0.01			
					下 0.03					

作付け時土壌濃度は上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

表 4-16-2 メタラキシルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物 ^{*1,2}	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度 ^{*3}
H25	岐阜県農業技術センター	リドミル粒剤2 (2.0%) 慣行量区: 6kg/10a, 1/3量区: 2kg/10a, 1/5量区: 1.2kg/10a	なし	ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理82日)	サマーズ	0.92	上 0.42 下 0.42	0.09	2
				ホウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理82日)		0.30	上 0.16 下 0.12	<0.01	
				ホウレンソウ(1/5量処理区)(薬剤処理82日)		0.14	上 0.06 下 0.06	<0.01	
				ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理83日)	スーパーアリーナ7	0.92	上 0.42 下 0.42	0.04	
				ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理83日)	ハンター	0.92	上 0.42 下 0.42	0.10	
	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所	アルバリン粒剤(1.0%) 慣行量区: 6kg/10a, 1/3量区: 2kg/10a, 1/5量区: 1.2kg/10a	なし	コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理35日)	よかった菜	1.24	上 1.24 下 0.068	0.22	1
				コマツナ(1/3量処理区)(薬剤処理35日)		1.03	上 0.580 下 0.021	0.07	
				コマツナ(1/5量処理区)(薬剤処理35日)		0.544	上 0.539 下 0.081	0.05	
				コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理35日)	ひとみ	1.25	上 1.240 下 1.410	0.24	
				コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理35日)	楽天	1.25	上 1.240 下 1.410	0.15	
兵庫県農林水産技術総合センター	リドミル粒剤2 (2.0%) 慣行量区: 6kg/10a 1/3量区: 2kg/10a 1/5量区: 1.2kg/10a	なし	ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理31日)	サマーズ	1.84	上 0.74 下 <0.01	0.03	2	
			ホウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理31日)		0.56	上 0.48 下 <0.01	<0.01		
			ホウレンソウ(1/5量処理区)(薬剤処理31日)		0.26	上 0.10 下 <0.01	<0.01		
			ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理30日)	ミラージュ	1.32	上 0.84 下 <0.01	0.01		
			ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理34日)	サマースカイR7	1.58	上 0.89 下 <0.01	0.08		
H24	宮城県農業・園芸総合研究所	リドミル粒剤2 (2%) 6kg/10a	なし	カブ(早期区)(薬剤処理49日)	夏はくれい	-	上 1.22 下 0.01	根 0.03 葉 0.02	根 0.3 葉 0.3
				カブ(遅延区)(薬剤処理87日)	夏はくれい	-	上 0.56 下 0.06	根 0.05 葉 0.03	
				ハツカダイコン(早期区)(薬剤処理41日)	雪小町	-	上 1.22 下 0.01	根 0.07 葉 1.38	根 0.2 葉 2
				ハツカダイコン(遅延区)(薬剤処理81日)	雪小町	-	上 0.56 下 0.06	根 0.04 葉 0.07	
				ハツカダイコン(早期区)(薬剤処理41日)	紅ほほ丸	-	上 1.22 下 0.01	葉 0.68	
	栃木県農業試験場	リドミル粒剤2 (2%) 6kg/10a	なし	カブ(早期区)(薬剤処理52日)	耐病ひかり	-	(0~20cm) 0.80	根 0.03 葉 0.03	根 0.3 葉 0.3
				カブ(遅延区)(薬剤処理100日)	耐病ひかり	-	(0~20cm) 0.33	根 0.01 葉 <0.01	
				ニンジン(早期区)(薬剤処理126日)	向陽二号	-	(0~20cm) 0.80	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.4 葉 1
				ニンジン(遅延区)(薬剤処理175日)	向陽二号	-	(0~20cm) 0.33	根 <0.01 葉 <0.01	
	熊本県農業研究センター	リドミル粒剤2 (2%) 6kg/10a	なし	カブ(早期区)(薬剤処理54日)	耐病ひかり	-	上 0.90 下 0.68	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.3 葉 0.3
カブ(遅延区)(薬剤処理138日)				耐病ひかり	-	上 0.45 下 0.25	根 0.03 葉 0.01		
ニンジン(早期区)(薬剤処理104日)				愛紅	-	(0~20cm) 0.92	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.4 葉 1	
ニンジン(遅延区)(薬剤処理120日)				愛紅	-	(0~20cm) 0.44	根 <0.01 葉 <0.01		
ハツカダイコン(早期区)(薬剤処理39日)				さくらんぼ	-	上 0.90 下 0.68	根 0.01 葉 0.04	根 0.2 葉 2	
ハツカダイコン(遅延区)(薬剤処理112日)				さくらんぼ	-	上 0.45 下 0.25	根 0.05 葉 0.01		

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物 ^{*1,2}	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度 ^{*3}
H23	東京都農 林総合研 究センタ ー	リドミル粒 剤 2 (2%) 6kg/10a	なし	ダイコン (早期区) (薬剤処理 71 日)	夏みの 早生三号	2.62	0.21	0.01	根 0.2 葉 2
				ダイコン (遅延区) (薬剤処理 122 日)	夏みの 早生三号	1.11	0.10	<0.01 (n. d.)	
				カブ(葉) (早期区) (薬剤処理 57 日)	白馬	0.99	0.17	0.01	根 0.3 葉 0.3
				カブ(葉) (遅延区) (薬剤処理 122 日)	白馬	0.95	0.09	0.01	
				カブ(根) (早期区) (薬剤処理 57 日)	白馬	0.99	0.17	0.01	
				カブ(根) (遅延区) (薬剤処理 122 日)	白馬	0.95	0.09	0.01	
	埼玉県農 林総合研 究センタ ー	リドミル粒 剤 2 (2%) 6kg/10a	なし	コマツナ (早期区) (薬剤処理 14 日)	夏楽天	1.36	0.21	0.01	1
				コマツナ (遅延区) (薬剤処理 60 日)	夏楽天		0.10	<0.01 (n. d.)	
				シュンギク (早期区) (薬剤処理 14 日)	強力オーラ イ		0.17	0.01	4
				シュンギク (遅延区) (薬剤処理 60 日)	強力オーラ イ		0.09	0.01	
				ホウレンソウ (早期区) (薬剤処理 14 日)	大場春菊		0.17	0.01	2
				ホウレンソウ (遅延区) (薬剤処理 60 日)	大場春菊		0.09	0.01	
H22	熊本県農 業研究セ ンター	リドミルM Z水和剤 (10%) 1000 倍×3 回 300 L/10a	なし	ホウレンソウ 露地	アトラス	0.77	0.47	0.01	2
				コマツナ 露地	楽天	0.77	0.27	0.02	1
				非結球レタス 露地	晩抽レッ ドファイ ヤー	0.82	0.32	0.01	2
	青森県 農林総合 研究セン ター	リドミルM Z水和剤 (10%) 1000 倍 300 L/10a	なし	コマツナ	河北小松菜	0.92	0.52	0.07	1
				チンゲンサイ	遼東チン ゲンサイ	0.92	0.61	0.04	2
				ホウレンソウ	サマービ クトリー	0.92	0.53	0.01	2
	宮城県農 業・園芸総 合研究所	リドミルM Z水和剤 (10%) 1000 倍×3 回 300 L/10a	なし	ホウレンソウ 露地 (火山灰)	サイクロ ン	0.95	0.94	0.03	2
				ホウレンソウ 露地 (沖積土)	サイクロ ン	0.53	0.39	0.04	
				コマツナ 露地 (火山灰)	まさみ	0.95	0.94	0.02	1
				コマツナ 露地 (沖積土)	まさみ	0.53	0.39	0.25	
	高知県農 業技術セ ンター	リドミルM Z水和剤 (10%) 1000 倍 300 L/10a	なし	ホウレンソウ 露地	アトラス	0.77	0.47	0.01	2
				コマツナ 露地	楽天	0.77	0.27	0.02	1
				非結球レタス 露地	晩抽レッ ドファイ ヤー	0.82	0.32	0.01	2
	島根県農 業技術セ ンター	リドミルM Z水和剤 (10%) 1000 倍 300 L/10a	なし	コマツナ	夏楽天	0.64	0.51	0.06	1
				シュンギク	大葉	0.53	0.36	0.13	4
				コネギ	鴨頭	0.40	0.23	<0.01	0.2
				ホウレンソウ	トラッド	0.69	0.34	0.02	2
	岐阜県農 業技術セ ンター	リドミル粒 剤 (2%) 10kg/10a	なし	コマツナ 露地	さおり	3.56	1.27	0.06	1
				ホウレンソウ露地	クロノス			<0.01	2
				カブ露地	白盃			葉 0.08 根 0.03	葉 0.3 根 0.3

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)				
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物 ^{※1,2}	品種	最終 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度 ^{※3}			
H21	日本植物 防疫協会	リドミル粒 剤(2%) 20kg/10a	裸地	コマツナ 露地 (薬剤処理 30日)	楽天	16.6	0.30	0.25	1			
				コマツナ 露地 (薬剤処理 58日)	楽天	16.6	0.06	0.13				
				コマツナ 露地 (薬剤処理 90日)	楽天	16.6	0.02	0.03				
				宮城県農 業・園芸総 合研究所	リドミル粒 剤2(2%) 10kg/10a	コマツ ナ	カブ 露地 (薬剤処理 30日)	スワン	16.6	0.30	葉 0.53 根 0.24	葉 0.3 根 0.3
							カブ 露地 (薬剤処理 58日)	スワン	16.6	0.06	葉 0.14 根 0.09	
							カブ 露地 (薬剤処理 90日)	スワン	16.6	0.02	葉 0.03 根 0.03	
H20	日本植物 防疫協会	リドミル粒 剤2(2%) 20kg/10a	裸地	ハウレンソウ (薬剤処理 14日)	オーライ	21.0	0.85	0.21	2			
				ハウレンソウ (薬剤処理 28日)	オーライ	21.0	0.32	0.05				
				ハウレンソウ (薬剤処理 42日)	オーライ	21.0	0.24	0.02				
				ハウレンソウ (薬剤処理 58日)	オーライ	21.0	0.11	0.02				
	高知県農 業技術セ ンター	リドミルM Z水和剤 (10%) 1000倍300 L/10a	キュウ リ	メロン	雅春秋系	-	0.25	<0.01	0.7			
	兵庫県農 林水産技 術総合セ ンター	リドミル粒 剤2(2%) 9kg/10a	ホウ レン ソウ	葉ダイコン(耕起区)	栄葉	1.72	0.10	<0.02	2			
				葉ダイコン(不耕起)	栄葉	1.72	0.14	<0.02				
	宮城県農 業・園芸総 合研究所	リドミル粒 剤2(2%) 6kg/10a	ホウ レン ソウ	コマツナ	まさみ	1.91	0.3	<0.01	1			
	H19	日本植物 防疫協会	リドミル粒 剤2(2%) 3g/株	ピー マン	ハウレンソウ(耕起区)	マグワイヤー	7.40	2.52	0.04	2		
					ハウレンソウ(不耕起)	マグワイヤー	6.20	4.34	0.04			
香川県農 業試験場		リドミルM Z水和剤 (10%) 1000倍300 L/10a	ネギ	ハウレンソウ	強力 オーライ	0.847	0.100	0.005	2			
H18	高知県農 業技術セ ンター	リドミルM Z水和剤 (10%)1000 倍×3回 300L/10a	キュウ リ	ナス	春鈴	-	0.26	<0.01	1			

※1: 供試作物の作付処理区について、早期区: 早期作付処理区、遅延区: 遅延作付処理区を示す。

※2: 供試作物の薬剤処理について、薬剤処理: 収穫時の最終農薬処理後経過日数を示す。

※3: 作付け時土壌濃度について、上: 上層(0~10cm)、下: 下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

表 4-17 メタラキシルMの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終 処理後 濃度		
過年度の調査実績なし								

表 4-18 TPN の過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終 処理後 濃度		
過年度の調査実績なし								

4-2 農薬散布量による影響

今年度の調査対象となっている農薬について、過年度に慣行と異なる農薬残布量での影響試験における検出状況は表 4-11～表 4-13 に整理したとおりである。

表 4-11 トルクロホスメチルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件		土壌濃度 (mg/kg) ※1	作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物			
H22	日本植物防疫協会	リゾレックス 水和剤 (50%) 5000 倍～100 倍 3000L/10a	コマツナ	-	< 0.01	2.0
			1/10 濃度	1.22	-	
			コマツナ	-	0.02	
			1/2 濃度	6.90	-	
			コマツナ	-	0.11	葉 < 0.01 根 < 0.01
			慣行濃度	13.9	-	
			コマツナ	-	0.07	
			5 倍濃度	78.1	-	
			カブ	-	葉 < 0.01 根 < 0.01	
			1/10 濃度	1.22	-	
			カブ	-	葉 < 0.01 根 < 0.01	
			1/2 濃度	6.90	-	
カブ	-	葉 0.01 根 < 0.01				
慣行濃度	13.9	-				
カブ	-	葉 0.02 根 < 0.01				
5 倍濃度	78.1	-	葉 0.06 根 0.06			

※1 後作の土壌中の濃度について、上段：最終処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

表 4-12 フルトラニルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件		土壌濃度 (mg/kg) ※1	作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物			
H22	日本植物防疫協会	モンカットフロアブル (40%) 10000 倍～200 倍 300L/10a	コマツナ	-	1.0	0.011
			1/10 濃度	0.45	-	
			コマツナ	-	0.29	
			1/2 濃度	3.92	-	
			コマツナ	-	1.06	葉 < 0.01 根 < 0.01
			慣行濃度	8.31	-	
			コマツナ	-	0.15	
			5 倍濃度	39.8	-	
			カブ	-	葉 < 0.01 根 < 0.01	
			1/10 濃度	0.45	-	
			カブ	-	葉 < 0.01 根 < 0.01	
			1/2 濃度	3.92	-	
カブ	-	葉 0.02 根 0.02				
慣行濃度	8.32	-				
カブ	-	葉 0.09 根 0.07				
5 倍濃度	39.8	-	葉 0.09 根 0.07			

※1 後作の土壌中の濃度について、上段：最終処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

表 4-13 プロシミドンの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件		土壌濃度 (mg/kg) ※1	作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物			
H22	日本植物防疫協会	スミレックス水和剤 (50%) 10000 倍～200 倍 300 L /10a	コマツナ	-	0.16	5
			1/10 濃度	0.10	-	
			コマツナ	-	0.34	
			1/2 濃度	0.42	-	
			コマツナ	-	0.63	
			慣行濃度	0.73	-	0.79
			コマツナ	-	3.72	葉 5 根 0.5
			5 倍濃度	3.72	-	
			カブ	-	0.03	
			1/10 濃度	0.10	根<0.01	
カブ	-	葉 0.11				
1/2 濃度	0.42	根<0.01				
カブ	-	葉 0.19				
慣行濃度	0.73	根 0.03				
カブ	-	葉 0.50				
5 倍濃度	3.72	根 0.12				

※1 後作の土壌中の濃度について、上段：最終処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す